Canon

PUB. DIJ-0419-000C

HDビデオカメラ

iVIS mini X

使用説明書

CANON iMAGE GATEWAY

MP4 HDMI AVCHD Wi Fi CERTIFIED

iVIS mini Xを使って 楽しく撮ろう！共有しよう！

ダンスや楽器の演奏、料理など趣味や日常を
気軽に撮って友人や家族と共有しましょう。
会議や商談など、記録を残したいビジネスユースにもおすすめです。

撮影スタイルに合わせて

液晶画面やスタンドを調節して、置いて撮ったり、持って撮ったりさまざまなスタイルで撮影できます。

ワイドアングルレンズ

35

広角で撮る

ワイドアングルレンズを搭載しているため広角で撮影できます。被写体は画面の端ほど曲がって、魚眼風に記録されます。

撮影モード

67

撮影シーンに合わせて選ぼう

「スポーツ」や「グルメ･ファッション」、「夜景」など･･･撮影モードを切り換えるだけで簡単に撮影できます。

オーディオシーン

88

音にこだわる

撮影場面に合った音質の設定を選んで撮影。音にこだわった臨場感あふれる映像が簡単に撮影できます。

Wi-Fi機能を使って

130

ネットにアップロード

撮影した動画をYouTubeやFacebookなどにアップロードして友人や家族と共有できます。

※「安全上のご注意」と「取り扱い上のご注意」を必ずお読みください（194〜201ページ）。

そろっていますか？ 7
Wi-Fiを使ってできること 8
この本の読みかた 10
各部のなまえ 12

Chapter 1
準備

バッテリーを充電する 16
カードを入れる 19
日時を合わせる 22
カードを初期化する 24
動画形式を選ぶ《AVCHD/MP4》 26

Chapter 2
操作のしかた

タッチパネルで操作する 28
メニューを使う 29

Chapter 3
基本

ビデオを撮る 35
写真を撮る 40
オートモードについて《こだわりオート》 43
ビデオを見る 44
写真を見る 51
シーンや写真を消す《消去》 54

MENU アイウ

シーンを分割する 58
シーンを切りとる《トリミング》 60
写真を順番に再生する《スライドショー》 62

Chapter 4

応用

動画の画質を選ぶ《録画モード》 64
静止画のサイズを選ぶ 66
場面や目的に合わせて撮る《撮影モード》 67
間隔をあけて撮る《インターバル記録》 70
スローモーションや倍速で撮る《スロー記録／倍速記録》 74
ビデオスナップを撮る 76
撮影チャンスを逃さない《プレREC》 77
セルフタイマーを使う 78
映像をデコレーションする《タッチデコレーション》 80
反転させて撮る《ミラーイメージ記録／ポジション検出》 84
音にこだわって撮る 86
ヘッドホンを使う 103
色合いを調整する《ホワイトバランス》 105
明るさを調整する《露出》 107
顔を検出してきれいに撮る《フェイスキャッチ＆追尾》 110
映像からビデオスナップや写真を作る 112

Chapter 5

保存・共有・鑑賞

テレビで見る 115
MP4形式の動画に変換する《MP4変換》 117
パソコンに保存する 121
BDレコーダーなどにダビングする 128

Chapter 6

Wi-Fi(無線接続)

Wi-Fiで何ができるの？ 130
スマートフォンなどをリモコンにして撮る《ライブストリーミングリモコン》..... 133
スマートフォンなどのWebブラウザーで見る《リモートブラウズ》..... 141
iOS機器に保存／ Webサービスで共有《Movie Uploader》..... 144
Webサービスで共有する《Webサービスに接続》..... 147
パソコンなどで見る《メディアサーバー》..... 157
アクセスポイントにWi-Fi接続する 160
Wi-Fi設定を表示／変更する 167

Chapter 7

ふろく

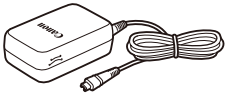
故障かな？ 173
メッセージが出たら？ 183
安全上のご注意 194
取り扱い上のご注意 201
日常のお手入れ 208
海外で使う 209
メニューの紹介 211
画面の見かた 222
アクセサリー紹介 231
主な仕様 233
さくいん 240
保証書とアフターサービス 243
修理について 244

そろっていますか？

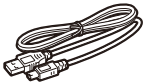
箱の中に次のものが入っているかチェックしましょう。

ビデオカメラ本体

バッテリーパック
NB-12L

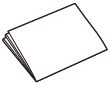


コンパクトパワーアダプター
（ACアダプター）
CA-110

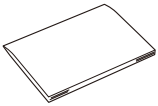


インターフェースケーブル
IFC-300PCU/S
（USBケーブル）

リストストラップ
WS-DC11



スタートガイド



PIXELA社製Transfer Utility LE
スタートアップガイド*

* 詳しくは株式会社ピクセラのウェブサイトからダウンロードしたTransfer Utility LE取扱説明書（電子マニュアル）をご覧ください（🕮122）。

Wi-Fiを使ってできること

Wi-Fiを使うと、ワイヤレスで動画や静止画を送信できます。ここではWi-Fiを使ってできることを簡単に紹介しています。詳細は130ページをご覧ください。

* Wi-Fi（ワイファイ）とはWi-Fi Allianceによって認証された、無線LAN機器同士の接続方式のことです。

スマートフォンやタブレットをリモコンとして使って撮る（133）

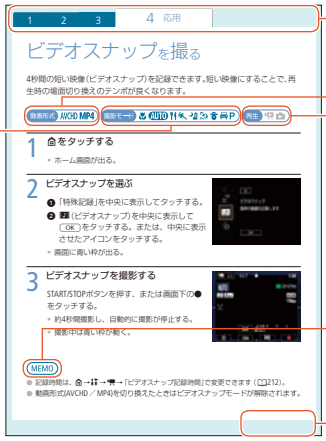
- 家の中の離れた場所の映像を見ながら撮る（133）
- 外出先から自宅の映像を見ながら撮る（136）

iPhoneやiPadなどに保存や再生をしたり、インターネットにアップロード（144）

パソコンやスマートフォン、タブレットの
Webブラウザーで見る（141）

CANON iMAGE GATEWAY経由でインターネットへ
アップロード（147）

この本の読みかた



各章の最初のページにジャンプ。

動画形式 AVCHD MP4

AVCHD形式とMP4形式のどちらの動画に対応するか示す。

再生

のときは動画再生、のときは静止画再生の画面にする。

POINT 知っていると便利なこと。

ご注意 守ってほしいこと。

MEMO 知っておいてほしいこと。

もくじにジャンプ。

MENU 「メニューの紹介」(211)にジャンプ。

さくいんにジャンプ。

撮影モード AUTO P

どの撮影モードのときに使用できるか示す。

本文中の表記

(10)	参照ページを示す。
参考 ▸▸	参考になるページや説明書などを示す。
カード	SD / SDHC / SDXCメモリーカードのこと。
シーン	一回の撮影操作で記録された動画のこと。

* 作例写真はスチルカメラで撮影したものを使用しています。

使う前に必ずお読みください

必ず「ためし撮り」しましょう

大切な映像を撮るときは、必ず事前にためし撮りをして、正しく録画・録音されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラ、カードなどの不具合で記録や再生ができない場合でも、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権に注意しましょう

本機で録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

ACCESS(アクセス)ランプについて

ACCESSランプ(📖14、41)が点滅している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損するおそれがあります。

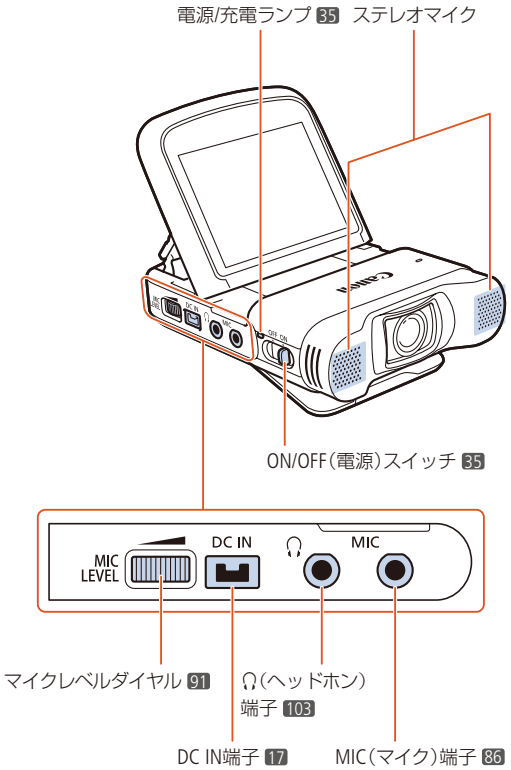
- カードカバーを開けない。
- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- ▶(再生)ボタン(📖13、50)を長押ししない。
- 本体にUSBケーブルをつないでいるときは、USBケーブルを抜かない。

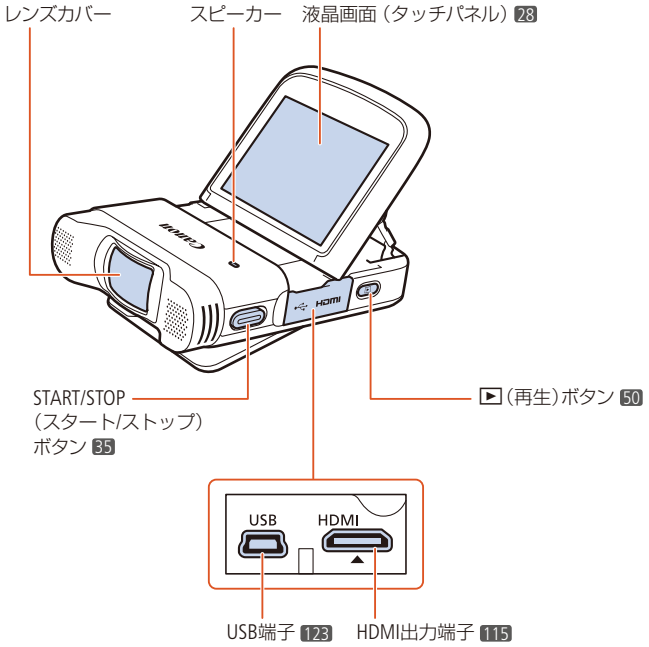
液晶画面について

液晶画面は、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

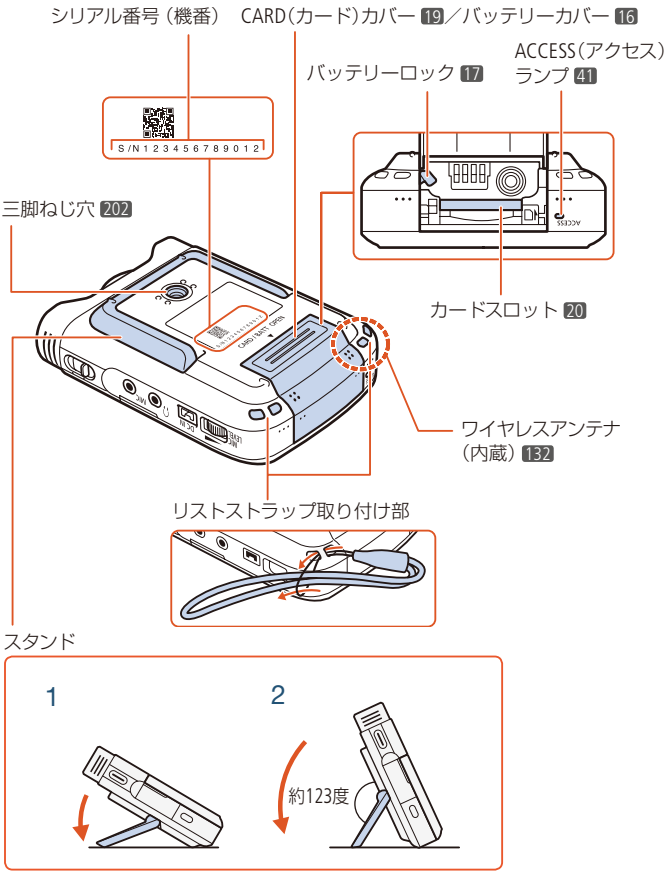
各部のなまえ

本文中に出てくる名称です。■内の数字は参照ページです。





液晶画面はお好みの位置に調整できます。お取り扱いについては202ページ、お手入れは208ページをご覧ください。


シリアル番号（機番）
CARD（カード）カバー 19／バッテリーカバー 16
ACCESS（アクセス）ランプ 41
バッテリーロック 17
S/N 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2
三脚ねじ穴 202
カードスロット 20
ワイヤレスアンテナ（内蔵） 132
リストストラップ取り付け部
スタンド
1
2
約123度

Chapter

1 準備

バッテリーを充電する……16
バッテリーを取り付けたり、充電したりするとき。

カードを入れる……19
SD / SDHC / SDXC
メモリーカードを使うとき。

日時を合わせる……22
日時の合わせかた。

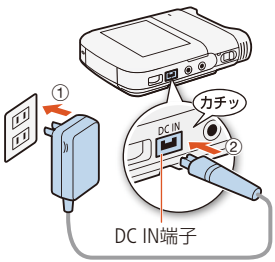
カードを初期化する……24
記録した動画や静止画などすべての情報を消すとき。

動画形式を選ぶ……26
AVCHDとMP4を切り換えるとき。

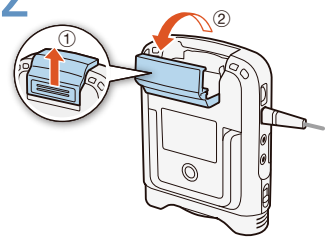
バッテリーを充電する

はじめてお使いになるときは、バッテリーを充電しましょう。

1 コンセントにつなぐ

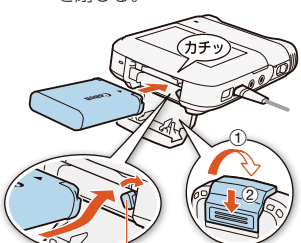


2 カバーを開ける



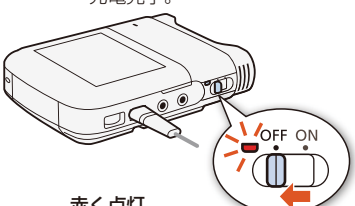
3 バッテリーを入れる

- バッテリーロックを押すように、バッテリーを下からスライドさせて入れる。
- バッテリーを入れた後、カバーを閉じる。



4 電源OFFで充電開始

- 点灯→消灯で充電おわり（充電がおわったらコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をはずす）
- 付属のバッテリーは約4時間で充電完了。

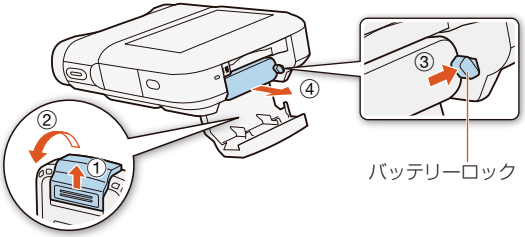


赤く点灯

- 点滅しているときは、「故障かな？」の「表示やランプ」（📖176）をご覧ください。

バッテリーを取り外すとき

バッテリーカバーを開けて、バッテリーロックを押して取り出す。



ご注意

- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、電源/充電ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損するおそれがあります。
- 無理にバッテリーを入れないでください。破損の原因となります。

MEMO

充電するとき

- 10 ℃～ 30 ℃の場所で充電することをおすすめします。バッテリーや周囲の温度が約0 ℃～ 40 ℃ (使用温度)の範囲外のときは、充電できません。
- 電源が入っているときは充電できません。
- 充電中にコンセントまたはDC IN端子からプラグを抜いたときは、再び接続する前に電源/充電ランプの消灯を確認してください。

撮影や再生するとき

- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。

- 別売のバッテリーチャージャー CB-2LGを使って充電することもできます。充電のしかたについては232ページをご覧ください。
- バッテリーの取り扱いについては204ページ、充電時間や使用時間については237ページをご覧ください。

カードを入れる

動画や静止画をメモリーカードに記録できます。SDスピードクラス4、6、10のカードの使用をおすすめします。

■ 使用できるカード

メモリーカードのタイプ	SDメモリーカード SDHCメモリーカード SDXCメモリーカード
SDスピードクラス*1	Class 4以上

*1 SDスピードクラス2のカードやSDスピードクラスに対応していないカードを使う場合、動画を記録できないことがあります。

動画記録時の動作確認済みメモリーカード

次のメーカー製のSD / SDHC / SDXCメモリーカードについて、動画記録時の動作を確認しています（2013年11月現在）。動作確認済カードの最新情報については、キヤノンのホームページでご確認ください。

- Panasonic
- TOSHIBA
- SanDisk

POINT

SDスピードクラス

メモリーカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。メモリーカードを購入するときは、スピードクラスのマークを確認してください。

ご注意

- 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画をバックアップしてから、本機でカードを完全初期化してください。

SDXCメモリーカードをお使いになるときは

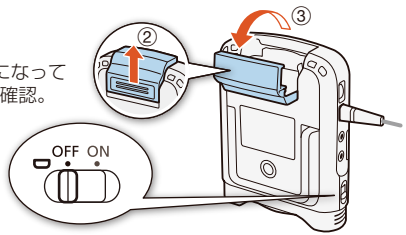
- SDXCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDXCに対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリーダー／ライターなどでご使用ください。対応状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わせください。
- SDXCメモリーカードに対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。**初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。**

■ カードを入れる

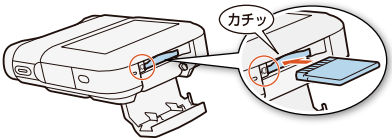
はじめてカードを使用するときは完全初期化してください（🕮24）。

1 カバーを開ける

①電源がOFFになっていることを確認。



2 カードを入れる

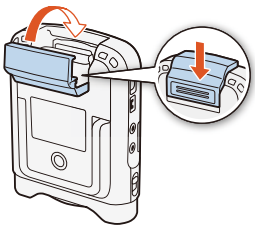


の向きに合わせて入れる

カードを出すとき

カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

3 カバーを閉じる



- カードが正しく入っていない状態で無理に閉めない。

ご注意

- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作2のような正しい向きで入れてください。

MEMO

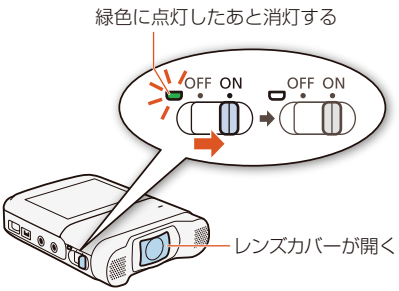
誤ってデータを消さないために

- カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できます。

日時を合わせる

はじめて電源を入れると日時の設定画面が現れます。タッチパネルでの操作のしかたについては28ページをご覧ください。

1 ON/OFF(電源)スイッチを「ON」にする



- はじめて電源を入れると「日付/時刻」設定画面が出る。

2 日時を設定する

❶ 項目をタッチし、▲/▼をタッチして設定する。

- この操作を繰り返して日時を設定する。

24時間表示にするとき

「24H」をタッチする。

❷ OK をタッチする。

MEMO

- 日時は、お住まいの地域と旅先の地域の2か所セットできます。海外旅行先の日時を指定しておくと、現地時間で記録できます（📖210、218）。
- 日時は🏠→🔧→⚙→「日付/時刻」で変更できます（📖218）。
- 本機を約3か月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください（📖206）。

カードを初期化する

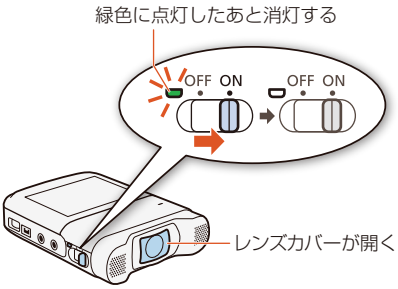
カードをはじめて使用するときや、記録した動画／静止画などすべての情報を消すときに初期化します。初期化には「初期化」と「完全初期化」があり、データを完全に消去する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

1 コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

- 初期化中は取り外さない。

2 ON/OFF（電源）スイッチを「ON」にする



3 をタッチする

- ホーム画面が出る。

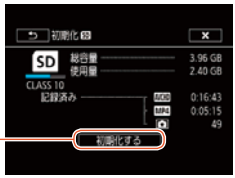
4 初期化を選ぶ

❶ 左右にドラッグして（セットアップ）を中央に表示して、タッチする。

❷ →「初期化」をタッチする。

5 初期化する

❶「初期化する」をタッチする。



完全に消去するとき

「完全初期化」をタッチする。

❷「はい」をタッチする。

完全初期化を中止するとき

「中止」をタッチする。カードはそのまま使用できるが、データはすべて消える。

❸ OK をタッチする。

6 ✕をタッチする

ご注意

- 初期化すると、すべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたい動画や静止画がある場合は、パソコンにバックアップ（📖121）してから初期化してください。

動画形式を選ぶ

AVCHD/MP4

2つの動画形式で動画を記録できます。AVCHD形式の場合、BD（ブルーレイディスク）レコーダーやDVDレコーダーなどにダビングできます。MP4形式の場合、変換をしなくてもiPhoneのようなスマートフォンでの再生、YouTubeやFacebookへのアップロードができます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

1 をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 動画形式を選ぶ

❶ （セットアップ）を中央に表示してタッチする。
❷ →「動画形式」をタッチする。
❸ いずれかをタッチする。

3 ✕をタッチする

Chapter

2 操作のしかた

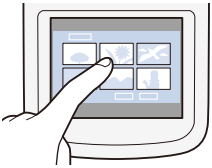
タッチパネルで操作する ……28
タッチパネルの使い方。

メニューを使う ……29
ホーム画面を操作したり、セットアップメニューの設定を変えるとき。

タッチパネルで操作する

液晶画面(タッチパネル)を直接タッチして直感的に操作できます。タッチパネルでの操作には、指で液晶画面を押すタッチ操作と、タッチしたまま指を上下や左右に動かすドラッグ操作があります。

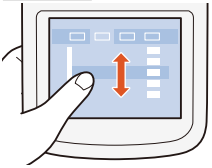
タッチ



液晶画面に表示される項目やボタンなどを指で触れます。

- シーン(動画)の再生、項目の選択などに使います。

ドラッグ



液晶画面に触れたまま上下または左右に指を移動します。

- 指の動きに合わせて画面の表示が変わります。画面スクロールやメニュー操作などに使います。
- 画面によっては、表示される三角マークのボタンをタッチして動かすこともできます。

ご注意

- 次の場合は正常に動作しないことがあります。
  - 爪先やボールペンなどのとがったもので操作をしたとき。
  - ぬれた手や手袋をしたままで操作したとき。
  - 強く押したままドラッグしたとき。

メニューを使う

(ホーム)画面はさまざまな機能や設定の入口です。撮影モードを切り換えたり、Wi-Fiなどを使用したりすることができます。またホーム画面内のセットアップメニューでは詳細に設定できます。なお、設定内容については「メニューの紹介」(211)をご覧ください。

動画形式 AVCHD MP4 撮影モード AUTO P 再生

ホーム画面で操作する

1 をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 内容を選ぶ

❶ 左右にドラッグして、選択する項目を中央に表示する。

- 左右の三角マークのボタンをタッチして、選択する項目を中央に表示することもできる。

❷ 項目をタッチする。

- 選択した項目が表示される。

撮るモード時

見るモード時

■ ホーム画面の紹介

撮るモード時と見るモード時で操作できる機能が異なります。

項目	内容	撮る／見るモード		📖
		撮る	見る	
セットアップ	撮影や再生するときに使う機能を設定する。	○	○	32、212
オーディオシーン	内蔵マイクの音質を撮影場面に合わせて選ぶ。	○	—	88
特殊記録	間隔をあけて撮ったり、速さを変えて撮ったりする。ビデオスナップを撮る。	○	—	70、74、76
撮影モード	場面や被写体に合わせてきれいに撮る。	○	—	67
画像の反転/回転	左右を反転させて撮る。また本機を回転して記録しても正しい向きに補正する。	○	—	84
セルフタイマー	2秒または10秒のセルフタイマーを使う。	○	—	78
ライブストリーミングリモコン	スマートフォンなどをリモコンとして使って、ビデオカメラやスマートフォンなどに記録する。	○	—	133
静止画再生	静止画の再生画面に切り換わる。	—	○	51
AVCHD 動画再生	AVCHD形式の動画の再生画面に切り換わる。	—	○	44
MP4 動画再生	MP4形式の動画の再生画面に切り換わる。	—	○	44
MP4 ビデオスナップ	MP4形式のビデオスナップだけを抽出した再生画面に切り換わる。	—	○	45

項目	内容	撮る／見るモード		🕮
		撮る	見る	
Wi-Fi	動画や静止画を動画共有サイトにアップロードしたり、スマートフォンやパソコンなどで再生したりするなど、Wi-Fiを使った機能を利用したり、設定を行う。	—	○	130

■ セットアップメニューの設定を変える

本機のさまざまな機能の設定を、セットアップメニューで変更できます。

例 「おしらせ音」を「切」に設定する

1 をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 設定を選ぶ

❶ (セットアップ)を中央に表示してタッチする。

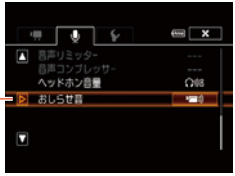
❷ をタッチする。

3 機能を選ぶ

❶ 上下にドラッグして、「おしらせ音」をオレンジ色のバーに合わせる。

- 左端の▲または▼をタッチしてスクロールすることもできる。
- 画面の機能名またはアイコンをタッチしてもよい。自動的にオレンジ色のバーまでスクロールされる。

❷ ▷をタッチする。



4 設定内容を選ぶ

OFF（切）をタッチする。

5 ✕をタッチする

MEMO

- ✕をタッチすると、メニューはいつでも終了します。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

Chapter

3 基本

ビデオを撮る ……35
動画の基本的な撮影のしかた。

写真を撮る ……40
オートモードでの静止画の基本的な撮影のしかた。

オートモードについて ……43
オートモードで撮影するときにできること。

ビデオを見る ……44
撮った動画を本機で見るとき。

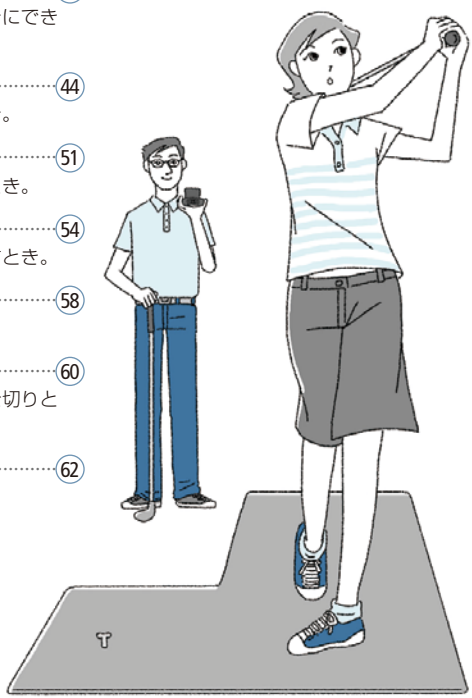
写真を見る ……51
撮った静止画を本機で見るとき。

シーンや写真を消す ……54
撮影したシーンや写真を消すとき。

シーンを分割する ……58
シーンを分割するとき。

シーンを切りとる ……60
シーンから必要な部分だけを切りとるとき。

写真を順番に再生する ……62
写真を順番に再生するとき。



ビデオを撮る

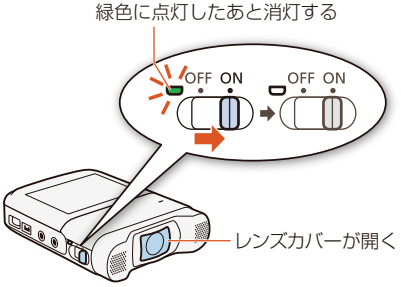
ここでは基本的な撮影について説明します。

本機はワイドアングルレンズを搭載しているため、AVCHD形式動画では150度、MP4形式動画では160度の広角で撮影できます*1。 (ワイド)時(37)は、被写体は画面の端ほど曲がって、魚眼風に記録されます。

*1 静止画は170度

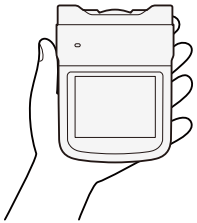
動画形式 AVCHD MP4 撮影モード AUTO P 再生

1 ON/OFF(電源)スイッチを「ON」にする



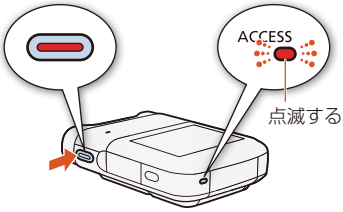
持って撮影するとき

レンズを覆わないようにして持つ。



2 START/STOPボタンを押す ▶ 撮影開始！

画面下の●をタッチしても撮影できる。



■が●に変わる

バッテリー残量

撮影可能時間

この範囲の16：9の動画が記録される。

3 もう一度START/STOPボタンを押すか、画面下の■をタッチする

- 1シーンの動画が記録され、撮影が停止する。

4 ON/OFF(電源)スイッチを「OFF」にする

- ACCESSランプが消えていることを確認する。

■ 中心部を切りとって撮る(アップ/ワイド)

歪曲(わいきょく)が少ない中心部を切りとって(アップ)、動画や静止画を記録できます。

1 (アップ)をタッチする

- 中心部が表示される。

解除するとき

(ワイド)をタッチする。

POINT

動画撮影モードと静止画撮影モードを切り換える

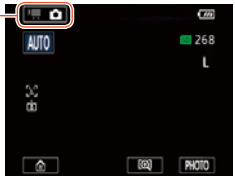
動画を撮影するときは (動画撮影モード)に、静止画を撮影するときは (静止画撮影モード)にあらかじめ設定します。

- 静止画を撮影するときは をタッチして、静止画撮影モードに切り換えます。

動画撮影モードのとき

- 動画を撮影するときは をタッチして、動画撮影モードに切り換えます。

静止画撮影モードのとき



ご注意

- 撮影が終了したときは、レンズを保護するため、必ずON/OFF(電源)スイッチをOFFにしてレンズカバーを閉じてください。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください(📖121)。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

MEMO

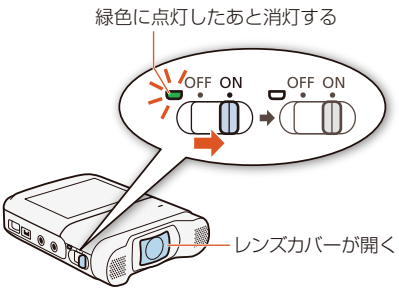
- ご購入時はオートモードに設定されています。オートモードについては43ページをご覧ください。
- 被写体に近づきすぎるとピントが合いません。撮影モードを「マクロ」にすると、被写体に約20cmまで近付いてピントを合わせることができます（📖67）。
- バッテリーを使っているときに、約3分間何も操作しないと、節電のため電源が切れます（📖220）。このときはON/OFF（電源）スイッチをOFFにした後、ONにしてください。
- 画面に光が当たって映像がよく見えないときは、画面の明るさを調節してください（📖218）。

写真を撮る

ここでは静止画の撮影について説明します。撮影するときのポイントや注意していただきたいことについては38ページをご覧ください。

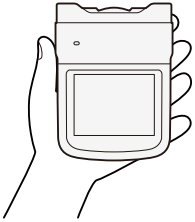
動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 ON/OFF(電源)スイッチを「ON」にする



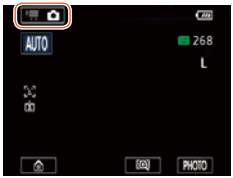
持って撮影するとき

レンズを覆わないようにして持つ。

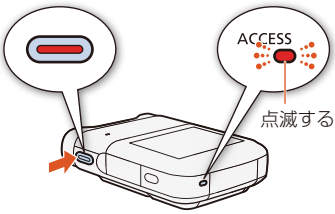


2 静止画撮影モードにする

(動画撮影モード)のときは を タッチして、静止画撮影モードにする(38)。



3 撮影する



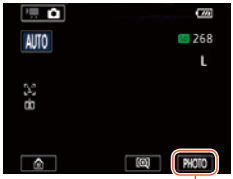


PHOTO をタッチする。

- START/STOPボタンを押しても撮影できる。
- 明るさが調整され、画面に緑色の●、絞り値、シャッタースピードが出て、4：3の静止画が記録される。

4 ON/OFF(電源)スイッチを「OFF」にする

- ACCESSランプが消えていることを確認する。

MEMO

- 動画撮影モードのときは静止画を記録できません。
- 静止画のサイズは → → → 「静止画サイズ」で変更できます (66)。
- 静止画撮影モード中の画面は、節電のため実際に記録される静止画より荒く表示されます。
- 記録可能枚数の目安については236ページをご覧ください。

オートモードについて

こだわりオート

撮影モードを(オート)にすると、ビデオカメラにおまかせで気軽に撮影できます。被写体や撮影状況を判別して、シーンに最適な設定にします。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

■ 撮影状況に合わせて自動で調整する

被写体の明るさや色合い、画質が最適になるように自動的に調整します。判別した被写体やシーンに応じて、画面に次のようなマークが出ます。

背景 / 被写体	明るい(灰色)	青空(水色)	鮮やかな色(緑/黄/赤色)	夕景(オレンジ色)	暗い(紺色)	暗い(紺色) スポットライト
静止した人物	(AUTO)	(AUTO)	(AUTO)	—	AUTO	—
動いている人物	(AUTO)	(AUTO)	(AUTO)	—	AUTO	—
風景など、人物以外の被写体	AUTO (AUTO)	AUTO (AUTO)	AUTO (AUTO)	AUTO	AUTO	AUTO

(　　)は逆光下の場合。

- シーンによっては、実際のシーンと異なるマークが表示されることがあります。特に背景がオレンジ色や青色の壁などのときは、☀や「青空」のマーク類が出て、適切な色合いで撮影できないことがあります。そのときは**P**(プログラムAE)モードで撮影することをおすすめします。
- 「インターバル記録」(📖70)または「フェイスキャッチ&追尾」(📖110)で被写体をタッチしたときなど、こだわりオートが働かないときはAUTOが表示されます。

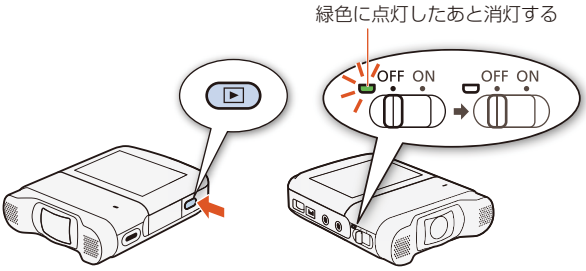
ビデオを見る

撮った動画やビデオスナップを再生します。ビデオスナップだけを抽出して再生することもできます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

1 インデックス画面が表示されるまで▶(再生)ボタンを長押しする

- 直前の撮影が、動画か静止画によって、見るモードにしたときのインデックス画面が異なる。
  動画撮影モードから見るモードにしたときは動画インデックス画面が、静止画撮影モードから見るモードにしたときは静止画インデックス画面が表示される。



2 インデックス画面で見たいシーンを探す

AVCHD形式の動画を再生するとき

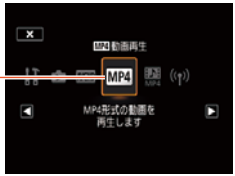
❶ をタッチする。

❷ AVCHD（動画再生）を中央に表示してタッチする。

MP4形式の動画を再生するとき

❶ をタッチする。

❷ MP4（動画再生）を中央に表示してタッチする。



MP4形式のビデオスナップのみを再生するとき

❶ をタッチする。

❷ MP4（ビデオスナップ）を中央に表示してタッチする。

左にドラッグで次の画面へ

右にドラッグで前の画面へ

タッチして左右に画面を切り換える

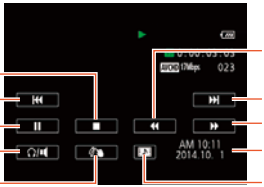
AVCHD形式の動画：撮影日。
MP4形式の動画：フォルダー名。
下4桁はフォルダーが作成された日付を表す。

3 シーンをタッチする ▶ 再生開始！

- タッチしたシーンの再生が終わると、インデックス画面の最後のシーンまで自動的に再生される。
- 画面をタッチすると、操作ボタンが出る。操作しないと数秒で消える（再生中のみ）。

再生中の操作

AVCHD形式の動画の場合

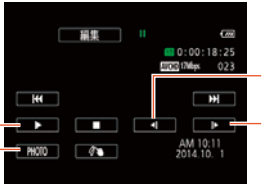


MP4形式の動画の場合

* MP4形式動画のときは記録が開始された日付が表示されます。

再生一時停止中の操作

AVCHD形式の動画の場合



MP4形式の動画の場合

ボタン	操作
◀◀（早戻し） ▶▶（早送り）	操作するたびに再生速度が5倍→15倍→60倍に切り換わる。早送り/早戻し中、音声は出ない。
⏮（前へスキップ）	現在のシーンの先頭から再生する。連続して2回タッチすると、前のシーンの先頭から再生する。
⏭（次へスキップ）	次のシーンの先頭から再生する。
◀❙（逆スロー再生） ❙▶（スロー再生）	操作するたびに再生速度が1/8倍→1/4倍に切り換わる。スロー再生／逆スロー再生中、音声は出ない。

■ 音量を調整する

1 再生中に画面をタッチ→🎧/🔈をタッチする

- ヘッドホン音量とスピーカー音量の調整バーが出る。

2 音量を調整する

❶ 調整バーの左右のマークをタッチするか、バー上をドラッグして調節する。

❷ ⮌をタッチする。

■ シーン情報を表示する

1 動画インデックス画面でiをタッチする

2 シーンをタッチして選ぶ

- 選んだシーンの情報が表示される。

3 ⮌を2回タッチして情報表示を終了する

■ 繰り返し再生する（リピート再生）

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 再生一時停止中にをタッチする

2 ▶をタッチする

- 1つのシーンが繰り返し再生される。

3 再生を終える

画面をタッチ→■をタッチする。

- 再生が停止しリピート再生が解除される。

■ 左右を反転させて再生する（ミラーイメージ再生）

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 再生一時停止中にをタッチする

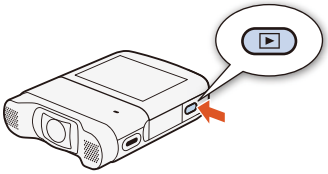
- 再生中は画面をタッチしてからをタッチする。

解除するとき　もう一度をタッチする。

POINT

撮影と再生を切り換える▶(再生)ボタン

- 電源がONのときに長押しすると、撮影(撮るモード)と再生(見るモード)が切り換わります。
- 電源がOFFのときに長押しすると、見るモードで起動します。
- 動画撮影中(インターバル記録を除く)は操作できません。



ご注意

- 他機でカードに記録した動画は本機で再生できないことがあります。

MEMO

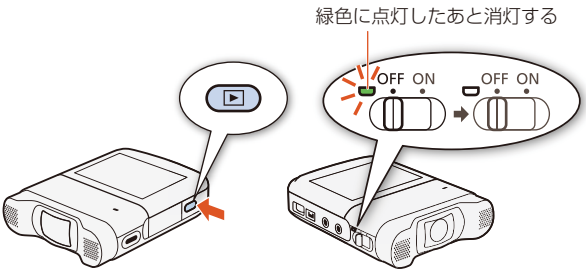
- MP4形式のビデオスナップはホーム画面の MP4「ビデオスナップ」や動画インデックス画面から、AVCHD形式のビデオスナップは動画インデックス画面からのみ再生できます。
- 再生画面に日時や日付を表示するときは、⌂→⚙→▶→「日時表示」を「入」にしてください(📖215)。
- 撮影条件によっては、シーンが切り換わるときに映像が止まったり、音声が途切れたりすることがあります。
- 早送り/早戻し中やスロー再生/逆スロー再生中は、画面が乱れることがあります。
- 画面に表示される倍速表示は目安です。
- 逆スロー再生は、連続したコマ戻しのように再生されます。
- ハイスピードHDMIケーブルHTC-100(別売)接続中やヘッドホン端子接続中は内蔵スピーカーから音声は出力されません。

写真を見る

撮った静止画を再生します。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 インデックス画面が表示されるまで▶(再生)ボタンを長押しする



2 静止画の再生画面を表示する

❶ ⌂をタッチする。

❷ 📷(静止画再生)を中央に表示してタッチする。

3 見たい静止画を探す

4 静止画をタッチする

- 静止画が再生される（1枚表示画面）。
- 左右にドラッグすると次または前の静止画に切り換わる。

■ 再生中の操作

▶（スライドショー）	静止画を順番に再生する（📖62）
▪▪（インデックス画面）	静止画再生中にインデックス画面に切り換える。
（ジャンプ）	ジャンプのつまみを左右にドラッグすると他の静止画にジャンプする。 ↩をタッチして終了。
🔍（アップ／ワイド）	静止画を拡大して見る（📖53）

■ 静止画を拡大して見る

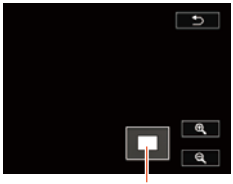
1 静止画再生中 画面をタッチ→🔍をタッチする

- 中央が約2倍に拡大する。

2 拡大する位置を決める

❶ 拡大する位置にドラッグする。
❷ さらに拡大するときは🔍をタッチする。

縮小するとき
🔍をタッチする。



拡大された位置の目安

3 ⮌をタッチする

- 拡大前の1枚再生画面に戻る。
- 🔍を何度かタッチしても戻る。

ご注意

● 次の静止画は正しく再生されないことがあります。
- 他機で記録したとき。
- パソコンで作成や加工をしたとき。
- パソコンでファイル名を変更したとき。

シーンや写真を消す

消去

不要なシーンや静止画を複数選んでまとめて消すことができます。日付を指定して一括消去したり、すべてのシーンや静止画を消したりすることもできます。

■ シーンや静止画を選んで消す

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

1 インデックス画面を表示する（44, 52）

消去するシーンまたは静止画を含むインデックス画面を表示する。

特定の日の全シーンまたは全静止画を消すとき

左右にドラッグして、消去するシーンまたは静止画を表示する。

2 消去を選ぶ

編集 →「消去」をタッチする。

3 いずれかの消去方法をタッチする

特定の日の全シーン*1を消すとき（操作5へ）

選んで消すとき

すべて消すとき*2（操作5へ）

*1 MP4形式の動画や静止画では、「101_0501」のような日付ごとに作成されたフォルダー名が表示される。
フォルダー名の下4桁はフォルダーが作成された日付を表す。

*2 静止画のときは「すべての静止画」が表示される。

4 シーンまたは静止画を選ぶ

選んで消すとき

❶ 消すシーンまたは静止画をすべてタッチする。

- ✔が表示される。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

❷ 実行をタッチする。

5 消去する

❶ 「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。一部のシーンまたは静止画は消去される。

❷ OKをタッチする。

■ 再生一時停止中のシーンを消す

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO　再生

1 再生一時停止にする

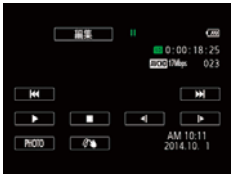
シーン再生中

画面をタッチ→❚❚をタッチする。

- 一時停止する。

2 消去する

例：AVCHD形式の動画の場合



❶ 編集 →「消去」→「はい」をタッチする。

❷ OK をタッチする。

■ 再生中の静止画を消す

撮影モード AUTO P 再生

1 静止画再生中 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

2 消去を選ぶ

❶ 編集 →「消去」をタッチする。

- 左右にドラッグして別の静止画を選ぶこともできる。

❷「実行」→「はい」をタッチする。

3 ✕をタッチする

ご注意

- **一度消したシーンや静止画は元に戻りませんので、消す前にシーンを確認してください。**
- 大切な映像データは、あらかじめバックアップしてください（121）。
- 他機でプロテクトされている静止画は消せません。

MEMO

- すべてのシーンや静止画を消して容量を元に戻す場合は、初期化します（24）。

シーンを分割する

AVCHD動画形式のシーンを分割できます。分割することで、必要な部分だけを残したシーンにできます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 シーンを再生する（44）

2 再生一時停止にする

画面をタッチ→❚❚をタッチする。

3 分割を選ぶ

〔編集〕→「分割」をタッチする。

4 分割する位置を決める

❶ 分割する位置を探す。

- ▶をタッチすると再生する。もう一度タッチすると一時停止になる。

再生中／一時停止中	⏮ ／ ⏭	シーンの始まりへ／終わりへ
再生中	◀◀ ／ ▶▶	早戻し／早送り
一時停止中	◀❚❚ ／ ❚❚▶	コマ戻し／コマ送り

❷ 分割する位置で一時停止にする。

5 分割する

「分割」→「はい」をタッチする。

- 分割した元のシーンの次に挿入される。

MEMO

- 分割する位置を決めるときのコマ戻し／コマ送りの間隔は0.5秒です。
- 一時停止した位置で分割できないことがあります。その場合はコマ送りなどで位置を変えてください。
- 再生時、分割したシーンのつなぎ目で映像と音声が乱れることがあります。

分割できない場合

- 約3秒未満のシーンのとき。
- シーンの始めまたは終わりから約1秒以内の位置のとき。

シーンを切りとる

トリミング

MP4形式のシーンから必要な部分だけ切りとって残すことができます。指定した位置より前または後ろの部分を消して、必要な部分を残せます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 シーンを再生する（44）

2 再生一時停止にする

画面をタッチ→❚❚をタッチする。

3 トリミングを選ぶ

編集→「トリミング」をタッチする。

4 切りとる位置を決める

❶ 位置を探す。

- ▶をタッチすると再生する。もう一度タッチすると一時停止する。

再生中／一時停止中	⏮ ／ ⏭	シーンの始まりへ／終わりへ
再生中	◀◀ ／ ▶▶	早戻し／早送り
一時停止中	◀❚❚ ／ ❚❚▶	コマ戻し／コマ送り

❷ 切りとる位置で一時停止にする。

5 シーンを切りとる

❶「トリミング」をタッチする。
❷「前部を削除」または「後部を削除」をタッチする。
❸「新規保存」または「上書き保存」をタッチする。

「新規保存」を中止するとき

「中止」をタッチする。

MEMO

- 他機で記録したり、コピーしたりしたシーンはトリミングできないことがあります。
- と表示されているインターバル記録した結合前のシーンはトリミングできません。
- シーンの始めまたは終わりから約0.5秒以内の位置のときはトリミングできません。

写真を順番に再生する

スライドショー

静止画を順番に再生します。テレビにつないで家族や友人と見るときなどに便利です。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

1 静止画のインデックス画面を表示する（📖52）

2 スライドショーを開始する

❶ スライドショーを開始する静止画をタッチする。

❷ 画面をタッチ→ ▶（再生）をタッチする。

スライドショーを止めるとき

画面をタッチ→⏸ をタッチする。

MEMO

- スライドショーに効果をつけて再生できます（📖215）。

Chapter

4 応用

画質や撮影モード …… 64
動画や静止画の画質や、目的に合わせた撮影モードを選ぶとき。

特殊な記録 …… 70
間隔や速度を変えて撮ったり、ビデオスナップを撮ったりするとき。

便利な機能 …… 78
セルフタイマーを使って撮影したり、再生する動画にデコレーションするとき。

その他の調整 …… 84
色合いや明るさなどを調整したり、映像からビデオスナップや写真を作ったりするとき。

動画の画質を選ぶ

録画モード

動画の録画モードには、24Mbps、17Mbps、4Mbps*1があります。高画質で撮影したいときは24Mbps、長時間撮影したいときは4Mbpsをお選びください。AVCHD形式の動画で24Mbpsを選ぶと、音声はリニアPCM*2（16ビット、48 kHz）の2チャンネル記録になります。

*1 MP4形式動画のみ

*2 記録したデータに加工や圧縮を行わないため、音質を損なわず、高音質で記録できる方式。AVCHD形式の「24Mbps」（リニアPCM記録）で撮影した動画は、リニアPCMに対応した機器でのみ音声が再生できます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 画質を選ぶ

❶ （セットアップ）を中央に表示してタッチする。

❷ →「録画モード」をタッチする。

❸ いずれかをタッチする。

3 をタッチする

MEMO

- 記録可能時間の目安については236ページをご覧ください。
- 「bps」(ビットレート)とは、1秒間に記録される映像データの情報量のことです。
- お使いのスマートフォンや機器によっては記録した動画を再生できない場合があります。
- 録画時間は撮影する被写体によって変化します。被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR(Variable Bit Rate)方式を採用しているためです。
- 以下のMP4形式のシーンは、他の機器では複数のファイルとして認識されます。
  - データ容量が4GBを超えるもの。
  - 記録時間が1時間以上のもの。

静止画のサイズを選ぶ

静止画の記録サイズを変更します。大きいサイズを選ぶとよりきれいに記録できます。静止画撮影モード(41)で設定します。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

1 をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 サイズを選ぶ

❶ (セットアップ)を中央に表示してタッチする。
❷ →「静止画サイズ」をタッチする。
❸ いずれかをタッチする。

3 をタッチする

MEMO

- 静止画サイズを **L** に設定してアップで撮影すると、自動的に**M**で記録されます。
- カードへの記録可能枚数の目安については236ページをご覧ください。

場面や目的に合わせて撮る

撮影モード

撮影時のモードを選んで、場所や被写体に合わせてきれいに撮影できます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 撮影モードをタッチする

- 撮影モードはホーム画面から選ぶこともできる。

2 撮影モードを選ぶ

いずれかを中央に表示して OK をタッチする。または、中央に表示させたアイコンをタッチする。

POINT

撮影モードについて

マクロ（SCN）

花などに近付いて撮る。[ワイド]（ワイド）時は歪曲（わいきょく）した特徴が引き立つ。

AUTO オート

オートモードで簡単に撮る。

グルメ・ファッション（SCN）

料理や洋服などを色鮮やかに撮る。

スポーツ（SCN）

動きの速い被写体を撮る。

夜景（SCN）

夜景をきれいに撮る。

ビーチ（SCN）

照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。

スノー（SCN）

照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。

車内（SCN）

車内で逆光になりやすい被写体を明るく撮る。

P プログラム AE

シャッタースピードと絞りを自動で設定して撮る。

MEMO

- マクロのとき、被写体に約20 cmまで近づいてピントを合わせることができます。
- スポーツ、ビーチ、スノーの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- ビーチやスノーのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎることがあります。画面で映像をご確認ください。
- AEとは、Auto Exposure(オートエクスポージャー)の略で、自動露出のことです。

間隔をあけて撮る

インターバル記録

5秒、10秒、30秒、1分または10分の間隔を空けて自動的に動画(0.5秒)*または静止画を連続して記録して、時間の経過に伴う変化を表現できます。動画の場合は1つのファイルとして結合できます。音声は記録されません。

* MP4形式のみ。

動画形式 AVCHD MP4 撮影モード AUTO P 再生

1 充電したバッテリーを入れるかコンパクトパワーアダプター(ACアダプター)につなぐ。

2 をタッチする

- ホーム画面が出る。

3 インターバル記録を選ぶ

❶「特殊記録」を中央に表示してタッチする。

❷ (インターバル記録)を中央に表示する。

間隔を変更するとき

❶ 画面右上の→設定する間隔をタッチする。

❷ をタッチする。

- インターバル記録を選ぶと、動画撮影可能時間が自動的に約半分になる。

4 OKをタッチする。または中央に表示させたアイコンをタッチする。

再度間隔を変更するとき

❶ 画面下の↙→設定する間隔をタッチする。

❷ ⮌をタッチする。

5 撮影する

動画のとき　START/STOPボタンを押す、または●をタッチする。

静止画のとき　START/STOPボタンを押す、またはPHOTOをタッチする。

- 記録が始まる。
- 次の撮影までの時間がカウントダウンされる。

6 撮影を終える

❶ ▶(再生)ボタンを長押しする。

❷ 「はい」をタッチする。

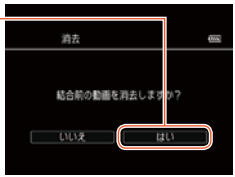
- 記録が終わる。

7 動画のみ 結合する

❶「はい」をタッチする。
- 結合しないときは「いいえ」をタッチする。

中止するとき「中止」をタッチする。
- 結合が中止され、インデックス画面が出る。

❷ OK をタッチする。



❸「はい」をタッチする。
- 結合前の動画を消去しないときは「いいえ」をタッチする。

中止するとき「中止」をタッチする。

❹ OK をタッチする。
- 1つのファイルとして結合されて見るモードに切り換わり、動画のインデックス画面が出る。

■ あとでシーンを結合する（動画のみ）

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

インターバル記録直後に結合しなかった場合、あとで結合することができます。

1 動画のインデックス画面を表示する（📖44）

2 ⁘がついている結合前のシーンをタッチする

3 「結合」をタッチする

4 結合する

- 72ページの操作7を行う。

MEMO

- インターバル記録中はフェイスキャッチ＆追尾、Wi-Fi機能や露出の固定を使用できません。
- 撮影開始から撮影終了までのインターバル記録継続時間は以下のとおりです。記録継続時間は設定した間隔によって異なります。

間隔	記録継続時間*
5、10、30秒	約3時間
1分	約6時間
10分	約60時間

* バッテリーパックを使ってインターバル記録するときはバッテリーの残量によって記録継続時間は短くなります。

- カードによっては書き込みに時間がかかり、設定した間隔以上でのインターバル記録になる場合があります。
- ご購入時の記録間隔は「5秒」に設定されています。
- 30秒以上の間隔でインターバル記録する場合、節電のため、記録時以外は画面が黒くなり待機状態となります。待機状態では、電源/充電ランプが緑色に点灯します。

スローモーションや倍速で撮る

スロー記録／倍速記録

MP4形式の動画のとき、スロー記録では1/2倍、1/4倍のスローモーションの動画、倍速記録では2倍、4倍の速さの動画を記録します。音声は記録されません。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

1 ⌂をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 スロー記録／倍速記録を選ぶ

❶「特殊記録」を中央に表示してタッチする。
❷ （スロー記録）または（倍速記録）を中央に表示する。

速さを変更するとき

❶ 画面右上の→設定する速さをタッチする。
❷ ⮌をタッチする。

3 OKをタッチする。または、中央に表示させたアイコンをタッチする

再度速さを変更するとき

❶ 画面下の→設定する速さをタッチする。
❷ ⮌をタッチする。

MEMO

- 1回の撮影操作で記録できる時間は、1/2倍では約6時間、1/4倍では約3時間です。それを超えると別々のシーンとして記録されます。
- 1/2倍で記録した場合は4Mbps(1280×720)、1/4倍で記録した場合は3Mbps(640×360)に自動的に変更して記録されます。
- フレームレートを「24P」にしてスロー／倍速記録した場合、自動的に「30P」に変更して記録されます。

ビデオスナップを撮る

4秒間の短い映像(ビデオスナップ)を記録できます。短い映像にすることで、再生時の場面切り換えのテンポが良くなります。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 ビデオスナップを選ぶ

❶「特殊記録」を中央に表示してタッチする。

❷ (ビデオスナップ)を中央に表示して OK をタッチする。または、中央に表示させたアイコンをタッチする。

- 画面に青い枠が出る。

3 ビデオスナップを撮影する

START/STOPボタンを押す、または画面下の●をタッチする。

- 約4秒間撮影し、自動的に撮影が停止する。
- 撮影中は青い枠が動く。

MEMO

- 記録時間は、→→→「ビデオスナップ記録時間」で変更できます (212)。
- 動画形式(AVCHD／MP4)を切り換えたときはビデオスナップモードが解除されます。

撮影チャンスを逃さない

プレREC

3秒前からの映像が自動的に記録され、決定的瞬間を逃しません。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

1 をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 プレRECを選ぶ

❶「特殊記録」を中央に表示してタッチする。
❷ を中央に表示する。
❸ OK をタッチする。または、中央に表示させたアイコンをタッチする。
❹ START/STOPボタンを押すか、画面下の●をタッチする。
- ボタンを押す3秒前からの映像が記録される。

MEMO

- プレRECの設定直後や撮影終了後から約3秒以内に撮影を始めると、3秒前からの映像は記録されません。
- 「動画形式」が「AVCHD」のときは「プレREC」設定と同時にタイムコードが歩進します。

セルフタイマーを使う

家族や友人と自分も一緒に撮影したいときに便利です。約10秒または約2秒後に撮影が始まります。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

1 をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 セルフタイマーを選ぶ

❶ （セルフタイマー）を中央に表示してタッチする。

❷ 2sec（2秒）または 10sec（10秒）をタッチする。

解除するとき

❷で OFF（切）をタッチする。

❸ ✕をタッチする。

- 画面に または が出る。

3 撮影する

動画の場合　START/STOPボタンを押す、または画面下の●をタッチする。

静止画の場合　START/STOPボタンを押す、または PHOTO をタッチする。

- 撮影開始までの時間がカウントダウンされる。

MEMO

セルフタイマーを解除するには

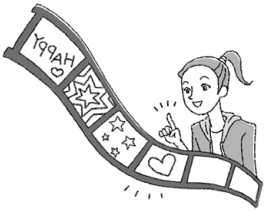
- 撮影開始までの時間を表示中に、START/STOPボタンを押す。または、●(動画のとき)をタッチする。
- 電源を切る。
- ▶(再生)ボタンを長押しする。

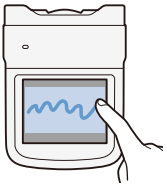
映像をデコレーションする

タッチデコレーション

再生する動画に手書き文字やマーク、アニメーションをデコレーション（飾り付け）できます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生





■ デコレーションして見る

1 動画のインデックス画面を表示する（📖44）

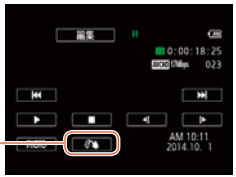
2 シーンをタッチする

- 再生が始まる

3 デコレーションを選ぶ

❶ 画面をタッチする。
- 操作ボタンが出る。

❷ をタッチする。



4 デコレーションする

- (ペン&スタンプ)または(アニメーション)を使ってデコレーションする。

再生一時停止するとき

をタッチする。
- 描いた「ペン&スタンプ」をカードに保存したり(83)、保存した「ペン&スタンプ」をカードから読み込んだりするとき(83)は一時停止にする。

ペン&スタンプ(82)	ペンのツールを使って指で描いたり、スタンプしたりできる。ペンの太さや色、スタンプの種類や色を選べる。描いた線やスタンプは1画面分のみカードに保存することもできる。
アニメーション(83)	アニメーションのパターンを選び、好きな位置に配置できる。

ツールバーを最小化するとき

をタッチする。 をタッチすると再び表示される。

■「ペン＆スタンプ」でデコレーションする

1 「ペン＆スタンプ」を選ぶ

❶ 81ページの操作4で◆をタッチする。

ペンやスタンプの種類を選ぶとき

いずれかをタッチする。

色を白または黒にするとき

□ または ■ をタッチする。

カラーパレットから選ぶとき

❶ 🖉 をタッチする。

❷ 好みの色をタッチする。

2 指先で描く

描いた「ペン&スタンプ」を消去するとき

→「クリア」→「はい」をタッチする。

消しゴムで消すとき

❶ →◇または◆をタッチする。
❷ 線やスタンプの上を指先でなぞる。

描いた「ペン&スタンプ」を保存するとき

→「SD保存」→「はい」をタッチする。

- キャンバス上の「ペン&スタンプ」がカードに保存される。

保存した「ペン&スタンプ」を読み込むとき

→「SD読み込み」→「はい」をタッチする。

■「アニメーション」でデコレーションする

1 「アニメーション」を選ぶ

❶ 81ページの操作4で✧をタッチする。
❷ いずれかをタッチする。

2 画面をタッチやドラッグする

- 選んだパターンが表示される。

反転させて撮る

ミラーイメージ記録／ポジション検出

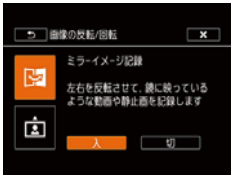
ミラーイメージ記録では左右を反転させて、鏡に映したようなMP4形式の動画や静止画を記録できます。ポジション検出を「入」にすると、本機を回転させて撮影しても正しい向きに補正します。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 画像の反転/回転を選ぶ



❶ （画像の反転/回転）を中央に表示してタッチする。

❷ （ミラーイメージ記録）または（ポジション検出）→「入」をタッチする。

解除するとき

「切」をタッチする。

❸ ✕をタッチする。

POINT

ミラーイメージ記録の撮影例

通常撮影時　　ミラーイメージ記録時

ポジション検出を「入」にしたときの撮影例

撮影時		再生時	
向き*1	画面のマーク	動画	静止画
		*2	
		*2	

*1 レンズを奥側に向けた場合の本機の向きを表しています。
*2 動画を縦位置で撮影した場合、本機では横向きで再生されます。

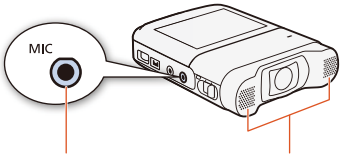
MEMO

- ポジション検出を「入」にして静止画を撮影しても、セットアップメニューで「縦横自動回転」を「切」にしている場合は正しい向きで再生されません。

音にこだわって撮る

本機では、収録する音声は、内蔵マイクと外部マイク（Φ3.5mm）から選択できます。AVCHD形式の動画で録画モード（26）を「24 Mbps」で設定すると2チャンネルのリニアPCM記録方式で音声を記録／再生できます。サンプリング周波数は48kHzです。

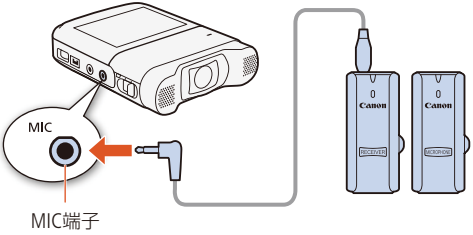
「インターバル記録」、「スロー記録」、「倍速記録」のとき音声は記録されません。



■ ワイヤレスマイクロホンWM-V1(別売)を使う

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

ワイヤレスマイクロホンWM-V1を使用すると、内蔵マイクではとらえられない離れた場所の音声を記録できます。WM-V1の取り付け方や操作については、WM-V1の使用説明書をご覧ください。



MEMO

WM―V1の使用説明書でマイクレベルの調整について「ビデオカメラのFUNC.メニューから「マイクレベル」を選び、M(マニュアル)で設定してください。」と説明されている場合がありますが、本機では操作が異なります。91ページをご覧の上、調整してください。

■ 市販のマイクを使う

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

本機には市販のマイクを取り付けることもできます。電源を内蔵したコンデンサーマイクをお使いください。端子の直径が3.5 mmのステレオマイクなら、多くが使用できます。ただし、録音時の音量は内蔵マイクと異なります。

1 市販のマイクをMIC端子につなぐ

MEMO

- 外部マイクを取り付けているとき、Wi-Fi機能使用時に音にノイズが出ることがあります。なるべく本機から外部マイクを離して使用してください。

■ 場面に合わせて音の設定を選択する（オーディオシーン）

内蔵マイクの音質を撮影場面に合わせて選べます。音にこだわった臨場感あふれる動画を簡単に撮影できます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 オーディオシーンをタッチする

- オーディオシーンはホーム画面から選ぶこともできる。

2 オーディオシーンを選ぶ

❶「オーディオシーン」を中央に表示してタッチする。

❷ いずれかを中央に表示して OK をタッチする。または、中央に表示させたアイコンをタッチする。

- 撮影する場面に合わせて録音設定を選ぶ。

STD スタンダード	カメラまかせの標準的な設定。
音楽	音楽の演奏や歌声を豊かに録音。屋内での演奏や歌声を撮影するとき。
フェスティバル	屋外での音楽をより自然に録音。屋外での音楽イベントを撮影するとき。
スピーチ	声の集音力を高めて録音。スピーチをしている人などを撮影するとき。
ミーティング	複数の声を聴き取りやすく臨場感豊かに録音。会議の様子を撮影するとき。
森と野鳥	自然の音の広がり感を鮮明に録音。森や野鳥を撮影するとき。
ノイズカット	風切音や自動車の走行音を低減して録音。風の強い海辺や騒音の多い所で撮影するとき。
C カスタム*	音質を自由に設定するとき。

* →→→「内蔵マイクウィンドカット」(93)、「内蔵マイクアッテネーター」(94)、「内蔵マイク周波数特性」(95)、「内蔵マイク指向性」(96)、「音声リミッター」(101)、「音声コンプレッサー」(102)で音質を細かく設定できます。

オーディオシーンの各設定一覧

	STD スタンダード	音楽	フェスティバル	スピーチ
マイクレベル	M マニュアル 70	M マニュアル 70	M マニュアル 70	M マニュアル 86
内蔵マイク ウィンドカット	Hオートハイ	Lオートロー	Lオートロー	Hオートハイ
内蔵マイク アッテネーター	A オート	A オート	A オート	A オート
内蔵マイク周波数特性	NORM ノーマル	LHB 低高域強調	NORM ノーマル	MB 中域強調
内蔵マイク指向性	NORM ノーマル	ふかWIDE ワイド	ふかWIDE ワイド	ふかMONO モノラル
音声リミッター	ON 入	ON 入	ON 入	ON 入
音声コンプレッサー	Lロー	Lロー	Lロー	OFF 切

	ミーティング	森と野鳥	ノイズカット	♪cカスタム
マイクレベル	M マニュアル 94	M マニュアル 80	M マニュアル 70	A オート/ M マニュアル
内蔵マイク ウィンドカット	Hオートハイ	Hオートハイ	Hオートハイ	Hオートハイ/ Lオートロー/ OFF 切
内蔵マイク アッテネーター	A オート	A オート	A オート	A オート/ ON 入/ OFF 切
内蔵マイク周波数特性	MB 中域強調	LC 低域カット	LC 低域カット	NORM ノーマル/ LB 低域強調/ LC 低域カット/ MB 中域強調/ LHB 低高域強調
内蔵マイク指向性	2ch WIDE ワイド	2ch WIDE ワイド	2ch MONO モノラル	2ch MONO モノラル/ NORM ノーマル/ 2ch WIDE ワイド
音声リミッター	ON 入	ON 入	ON 入	ON 入/ OFF 切
音声コンプレッサー	Hハイ	Lロー	OFF 切	ハイ/ Lロー/ OFF 切

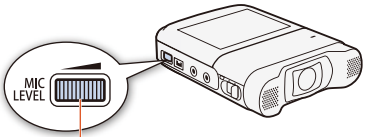
MEMO

- 「♪cカスタム」は AUTO のときは設定できません。「♪cカスタム」に設定したあと AUTO に切り換えると、オーディオシーンは「♪STD スタンダード」に戻ります。
- 「♪ 音楽」の音の抑揚（大きい音は大きく、小さい音は小さく）をより忠実に記録したいとき、マイクレベルを調整することをおすすめします（📖91）。
  リニアリティをさらに忠実に再現したいときは、オーディオシーンの「♪cカスタム」で「♪ 音楽」と同じ設定にして、「音声コンプレッサー」のみを「切」に設定することをおすすめします。

■ マイクレベルを調整する

内蔵マイクや外部マイク（Φ3.5mm）の録音時の音量（マイクレベル）を手動で調整できます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生



マイクレベルダイヤル

1 マニュアル設定にする

❶ Aをタッチする。
❷「Mマニュアル」をタッチする。
- マニュアル設定となる。

2 マイクレベルを調整する

- マイクレベルダイヤルを回して調整する。
- レベルメーターの表示が-10dBよりも右が時々点灯する状態を目安に調整する。

自動調整に戻すとき

M→「Aオート」→をタッチする。

MEMO

- レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
- マイクレベルを調整したり、「内蔵マイクアッテネーター」を「入」にしたりしているときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします（103）。

■ 内蔵マイクウィンドカットを使う

屋外で撮影するときに風の影響を受けて発生する、「ボコボコ」というノイズ音を自動的に低減します。なお、その際、風の音と一緒に低音の一部も低減されますので、風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは、「切」を選びます。

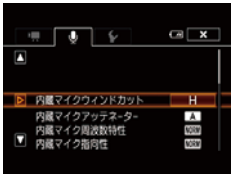
「オーディオシーン」であらかじめ「カスタム」を設定してください(88)。

動画形式 AVCHD MP4 撮影モード AUTO P 再生

1 をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 内蔵マイクウィンドカットを選ぶ



❶ (セットアップ)を中央に表示してタッチする。

❷ →「内蔵マイクウィンドカット」をタッチする。

❸ いずれかをタッチする。

Hオートハイ	風の音の低減効果が大きい。低音も軽減する。
Lオートロー	風の音の低減効果が小さい。低音はほとんど軽減しない。
OFF 切	風の音や低音を低減しない。

3 ✕をタッチする

■ 内蔵マイクアッテネーターを使う

大音量の音声がひずまないように、内蔵マイクの信号に対しアッテネーター（20 dB）を使用します。

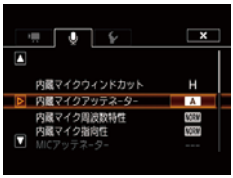
「オーディオシーン」であらかじめ「カスタム」を設定してください（88）。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

1 をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 内蔵マイクアッテネーターを選ぶ



❶ （セットアップ）を中央に表示してタッチする。

❷ →「内蔵マイクアッテネーター」をタッチする。

❸ いずれかをタッチする。

A オート	カメラがマイクの音量に合わせて、アッテネーターを自動的に入／切します。大音量はひずまない音量に、大音量以外は最適な音量で記録できる。
ON 入	常にアッテネーターが働き、音の強弱をより忠実に記録できる。「入」にすると画面に ATT が出る。
OFF 切	常にアッテネーターは働かない。「切」にすると画面に A OFF が出る。

3 ✕をタッチする

■ 内蔵マイク周波数特性を変える

収録する音に合わせて最適特性で音声を記録できます。

「オーディオシーン」であらかじめ「カスタム」を設定してください(88)。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

1 をタッチする

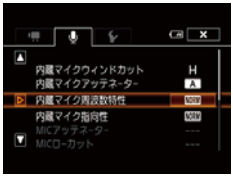
- ホーム画面が出る。

2 内蔵マイク周波数特性を選ぶ

❶ (セットアップ)を中央に表示してタッチする。

❷ →「内蔵マイク周波数特性」をタッチする。

❸ いずれかをタッチする。



NORM ノーマル	最も使用頻度が高く、バランスのとれた録音ができる。
LB 低域強調	低域を強調し、迫力ある録音ができる。
LC 低域カット	風雑音や自動車走行音などの低域の環境音を低減する。
MB 中域強調	人の声を中心に録音する。
LHB 低高域強調	コンサートなど音楽を録音するときに、音のメリハリを向上させる。

3 をタッチする

■ 内蔵マイクの指向性を切り換える

内蔵マイクの指向性を切り換えることで、正面の音に重点をおいて周囲のノイズを少なくしたり、音の広がりを強調したりすることができます。

「オーディオシーン」であらかじめ「カスタム」を設定してください(88)。

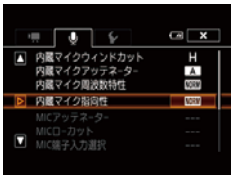
動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

1 ⌂をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 内蔵マイク指向性を選ぶ

❶ (セットアップ)を中央に表示してタッチする。
❷ →「内蔵マイク指向性」をタッチする。
❸ いずれかをタッチする。



2ch MONO モノラル	マイク正面の音声を重点的に記録するモノラル録音。
NORM ノーマル	ワイドとモノラルの中間。標準的なステレオ録音。
2ch WIDE ワイド	音の広がりを強調したステレオ録音。臨場感を出したいときに。

3 ✕をタッチする

■ 外部マイクにアッテネーターを使う

外部マイク使用時、MIC端子の信号に対し大音量の音声がひずまないように、アッテネーター(20 dB)を使用します。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 MICアッテネーターを選ぶ

❶ (セットアップ)を中央に表示してタッチする。
❷ →「MICアッテネーター」をタッチする。
❸ いずれかをタッチする。

A オート	カメラがマイクの音量に合わせて、アッテネーターを自動的に入／切します。大音量はひずまない音量に、大音量以外は最適な音量で記録できる。
ON 入	アッテネーターが常に働き、音の強弱をより忠実に記録できる。「入」にすると画面に ATT が出る。
OFF 切	アッテネーターは常に働かない。「切」にすると画面に AOFF が出る。

3 をタッチする

■ MICローカットを使う

外部マイク使用時、屋外で撮影するときに発生する風の音や、低い音を低減します。風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは「切」を選びます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

1 をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 MICローカットを選ぶ

❶ （セットアップ）を中央に表示してタッチする。
❷ →「MICローカット」をタッチする。
❸ ON（入）をタッチする。

3 をタッチする

■ MIC端子入力選択

MIC端子に入力する信号を選択します。オーディオプレーヤーなどの外部機器か市販の外部マイクかを選択します。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 MIC端子入力選択を選ぶ

❶ （セットアップ）を中央に表示してタッチする。
❷ →「MIC端子入力選択」をタッチする。
❸ 接続した機器に応じて、いずれかをタッチする。

LINE 外部音源　オーディオプレーヤーなどの外部機器を使用するとき。
MIC マイク　市販の外部マイクを使用するとき。

- ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）を取り付けている場合は、この操作は不要。

3 ✕をタッチする

■ 音声ミックス

外部マイク使用時、内蔵マイクと外部入力（MIC端子入力）の音声をミックス（混合）して記録できます。外部入力には、ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）、市販のオーディオプレーヤー／マイクを使用できます。2つの音声の混合比率（ミックスバランス）を変えることもできます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 ⌂をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 音声ミックスを選ぶ

❶ （セットアップ）を中央に表示してタッチする。
❷ →「音声ミックス」をタッチする。
❸ ON（入）をタッチする。
- レベルメーターをバランス調整バーが出る。

3 ミックスバランスを調整する

バランス調整バーのINTまたはMICをタッチして調整する。
- メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。

4 ✕をタッチする

■ 音声リミッター

急に大音量の入力があったときに、音がひずまないように入力レベルを下げる機能です。マイクレベルがマニュアル（📖91）、「オーディオシーン」が「カスタム」（📖88）のときに使用できます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

1 ⌂をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 音声リミッターを選ぶ

❶ ⚙（セットアップ）を中央に表示してタッチする。
❷ 🎙→「音声リミッター」をタッチする。
❸ ON（入）をタッチする。

3 ✕をタッチする

■ 音声コンプレッサー

音の強弱を補正することで、大きめの音でも強弱を残しながら、聴き取り易くする機能です。

「オーディオシーン」であらかじめ「カスタム」を設定してください(88)。

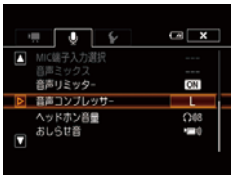
動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 音声コンプレッサーを選ぶ

❶ (セットアップ)を中央に表示してタッチする。
❷ →「音声コンプレッサー」をタッチする。
❸ いずれかをタッチする。



Hハイ	音の強弱をより平たんにして録音。会議など、声の大きさが異なる複数の人を撮影するときに効果的。
Lロー	音の強弱を明瞭に録音。音量が大きめの演奏などを撮影するとき。レベルメーターが一番右端を表示し続けるようなときに効果的。
OFF 切	会議や演奏の撮影以外では「切」にする。

3 をタッチする

ヘッドホンを使う

撮影時や再生時にヘッドホンで音声を聞くことができます。ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。

■ ヘッドホンで音声を聞きながら撮影／再生する

ヘッドホンを(ヘッドホン)端子に接続して、撮影や再生される音声をモニターできます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

1 をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 ヘッドホンを選ぶ

❶ (セットアップ)を中央に表示してタッチする。
❷ →「ヘッドホン音量」をタッチする。
❸ またはをタッチして音量を調整する。
- メーターを左右にドラッグしても調整できる。

3 ✕をタッチする

- 調整した位置で音量が固定される。

■ 再生中にヘッドホン音量を調整する

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

1 再生中音量を調整する

❶ 画面をタッチして、操作ボタンを出す。
❷ /をタッチする。
❸ ヘッドホン音量の または をタッチして音量を調整する。

MEMO

Wi-Fi機能中はヘッドホン端子から音声は出力されません。

色合いを調整する

ホワイトバランス

太陽光や電球など周りの光によって、白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなることがあります。そのようなときは、撮影時の光に応じて「白いものを白く」写すように色を調整できます。

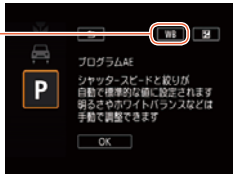
動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 撮影モードを選ぶ

❶ 撮影モードをタッチする。
❷ Pを中央に表示する。

2 ホワイトバランスを選ぶ

❶ WB（ホワイトバランス）をタッチする。
❷ いずれかをタッチする。



AWB オート	通常はAWB（オート）*を選択。自動的に自然な色合いに調整される。
太陽光	屋外で撮影するときに選択。
電球	電球や電球色タイプの3波長形蛍光灯のもとで撮影するときに選択。
セット	上記のモードで対応できない場合は（セット）を選ぶ。さまざまな光の下で、白いものを白く写すように調整するとき。

* AWBはAuto White Balance（オート ホワイト バランス）の略です。

(セット)を選んだとき

❶ 白紙、白布を画面の枠内に写す。

❷「白取り込み」をタッチする。

- (セット)が点滅→消灯に変わったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

❸ ⮌をタッチする。

3 ✕をタッチする

MEMO

(セット)を選んで調整するとき

- 場所や明るさが変わったときは再調整してください。
- 光によっては、ごくまれに(セット)が点滅→消灯に変わらないことがありますが、自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。

AWB(オート)でうまくいかないとき

次のような条件で撮影するとき、画面の色が不自然なときは(セット)で調整をしてください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯、一部の蛍光灯やLED照明のもとでの撮影。

明るさを調整する

露出

逆光のときに被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ(露出)の調整をします。タッチした被写体に最適な露出に調整することもできます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

■ 露出を調整する

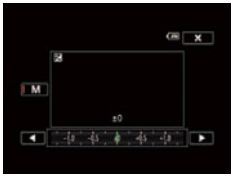
1 撮影モードを選ぶ

❶ 撮影モードをタッチする。
❷ AUTO以外の撮影モードを中央に表示する。

2 露出を選ぶ

(露出)をタッチする。

3 露出を調整する



❶ **M**をタッチする
- メーターが出る。

❷ ◀または▶をタッチする。
- メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。
- 調整後の明るさで固定される。
- 明るさによっては数値がグレーになり、調整可能な範囲が変わる。

自動の露出調整に戻すとき

Mをタッチする。

4 ✕をタッチする

- 露出固定中は、画面に⊠と露出の調整値が出る。

■ 被写体をタッチして調整する

1 露出を選ぶ

107ページの操作1 ～ 2を行う。

2 露出を調整する

露出を合わせたい被写体をタッチする。
- タッチした場所に⁘が点滅して、明るさが自動で調整され、露出が固定される。
- メーターでさらに調整することもできる。

自動の露出調整に戻すとき

Mをタッチする。

3 ✕をタッチする

- 露出固定中は、画面に±と露出の調整値が出る。

MEMO

- 露出を手動で調整後、撮影モードを切り換えると自動調整に戻ります。
- 「インターバル記録」設定時は使用できません。

顔を検出してきれいに撮る

フェイスキャッチ&追尾

人物の顔を検出して、自動的に明るさを調整します。主な被写体を変えたいときは、その人物の顔をタッチします。

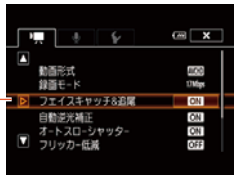
動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

* AUTO では自動的に「フェイスキャッチ&追尾」が「入」になります。

1 をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 フェイスキャッチ&追尾を選ぶ



❶ (セットアップ)を中央に表示してタッチする。

❷ →「フェイスキャッチ&追尾」をタッチする。

❸ ON (入)をタッチする。

解除するとき

OFF (切)をタッチする。

❹ ✕ をタッチする。

3 カメラを被写体に向ける

- 主な被写体と判断した顔に白い枠、その他の顔にグレーの枠が表示される。

特定の人を選ぶとき

特定の人物の顔をタッチする。

- タッチした人物の顔に白い2重枠が出る。

解除するとき

「解除」をタッチする。

MEMO

- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。その場合は「フェイスキャッチ＆追尾」を「OFF」にしてください。

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して、極端に小さいまたは大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れたりしているとき。

フェイスキャッチ＆追尾が使用できない場合

- 「インターバル記録」や「スロー記録」、「倍速記録」で撮影しているとき。
- ライブストリーミングリモコン機能を使って撮影しているとき。
- 露出を手動で調整しているとき。

映像からビデオスナップや写真を作る

撮影した映像から4秒間のビデオスナップを作ったり、写真として切りとったりすることができます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

■ 映像からビデオスナップを作る

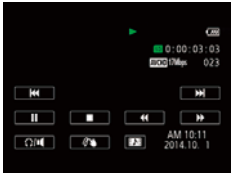
1 シーンを再生する（📖44）

- ビデオスナップを作成するシーンを再生する。

2 ビデオスナップを作る

画面上をタッチ→（ビデオスナップ）をタッチする。または、START/STOPボタンを押す。

- 4秒間のビデオスナップが作成され、再生が一時停止する。
- ビデオスナップ作成中は青い枠が動く。



3 再生を終える

■をタッチする。

- 元のシーンと同じ日付の末尾に保存される（AVCHD形式動画）。
- 作成した日付の末尾に保存される（MP4形式動画）。

MEMO

- 記録時間は、→→→→「ビデオスナップ記録時間」で2秒、4秒、8秒のいずれかに変更できます（📖214）。

- 再生中のみビデオスナップを作成できます。再生一時停止中は作成できません。
- 約1秒未満のシーンのときはビデオスナップは作成できません。
- シーンの終わりから約1秒以内の位置で作成すると、次のシーンの先頭からのビデオスナップになります。

■ 映像を写真として切りとる（あとからフォト）

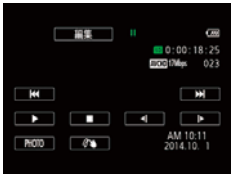
撮影した映像から、気に入った場面を静止画として切りとれます。

1 静止画を切りとるシーンを再生する（📖44）

2 静止画を切りとる位置で再生一時停止にする

画面をタッチ→⏸をタッチする。

3 PHOTOをタッチする



4 再生を終える

■をタッチする。

MEMO

- 記録される静止画のサイズは1920×1080です。
- 切りとった静止画の撮影日時は、元の動画を撮影したときの日時が設定されます。
- 動きの速い映像を静止画として切りとると、ブレた静止画になることがあります。

Chapter

5 保存・共有・鑑賞

テレビで見る ……115
テレビに接続して見るとき。

MP4形式の動画に変換する ……117
動画の画質やサイズを変換してコピーするとき。

パソコンに保存する ……121
動画や静止画をパソコンに保存するとき。

BDレコーダーなどにダビングする …128

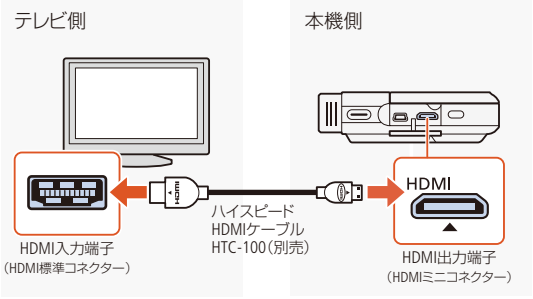
テレビで見る

HDMI入力端子のあるテレビで再生できます。ハイビジョンテレビにつないで美しい映像をお楽しみください。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 本機とテレビの電源を切る

2 HDMI端子に接続する



3 本機とテレビの電源を入れる

- テレビ側で入力端子を切り換える。

4 再生する

- 動画を見るとき（44）／静止画を見るとき（51）

POINT

HDMIとは？（High Definition Multimedia Interface）

1本のケーブルで映像と音声を高品位なデジタル信号のままで送受信できる規格です。本機のHDMI出力端子では、接続するテレビの解像度に応じて映像を出力します。

ご注意

- HDMI出力端子は出力専用です。他機の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。

MEMO

- テレビで見るときは、本機にコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐと、バッテリーの消耗を気にせずご覧になれます。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- テレビによっては正しく表示されないことがあります。
- HDMI出力端子にケーブルをつなぐと、スピーカーから音声は出ません。
- インターバル記録、スロー記録、倍速記録、静止画撮影モード、Wi-Fi機能使用中は、HDMI出力端子から映像や音声は出力されません。
- お使いのカードに対応したカードスロットのあるAVCHD規格対応*のテレビやレコーダーで、AVCHD形式の動画を記録したカードを再生できます。詳しくはお使いの機器の説明書をご覧ください。

* AVCHD規格に対応した機器でも、機器によっては正しく再生できないことがあります。その場合は本機で再生してください。

MP4形式の動画に変換する

MP4変換

AVCHD形式やMP4形式の動画をより容量の少ないMP4形式の動画に変換して、コピーします。インターネットにアップロードするときなどに便利です。変換するときにデコレーション機能を使って印象の違うシーンに加工できます。さらにMP4で撮影したシーンでは、シネマルックフィルターを使って、色合いや雰囲気を変えて映画のワンシーンの動画に仕上げることもできます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

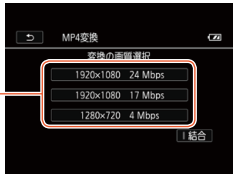
1 動画のインデックス画面を表示する（44）

2 MP4変換を選ぶ

- 編集 →「MP4変換」をタッチする。

3 変換後の画質を選ぶ

いずれかをタッチする。



複数のシーンを結合するとき

「結合」をタッチする。

4 シーンを選ぶ

❶ 変換するシーンをすべてタッチする。
- シーンが選択され、✔が付く。
- もう一度タッチすると選択が解除される。

選択をすべて解除するとき

「全解除」→「はい」をタッチする。

❷ 実行をタッチする。
❸「次へ」をタッチする。

5 好みに合わせて変更する

シネマルックフィルターをかけるとき

（MP4形式で撮影した動画のみ）

❶ FILTER 1をタッチする。
❷ いずれかを中央に表示して OK をタッチする。または、中央に表示させたフィルターをタッチする。
- 解除するときは「FILTER1 ～ 7」をタッチする。

デコレーションするとき

をタッチしてデコレーションする（82、83）。
- シネマルックフィルターをかけているときはデコレーションできない。

6 変換する

❶「START」をタッチする。

中止するとき

「STOP」をタッチする。

❷ OK をタッチする。

POINT

シネマルックフィルターの一覧

1. シネマスタンダード
映画のような基本画質。

2. ポップ
色彩にメリハリをきかせ軽快な印象に。

3. クール
見慣れたシーンをシャープで未来的なイメージに。

4. ノスタルジック
渋い発色と引き締まる画で、昔の映画のように。

5. セピア
何気ない日常の印象から懐かしい記憶の世界へ。

6. オールドムービー
画面に揺れや傷、明滅をつけて映画館のように。

7. ダイナミックモノクローム
黒と白の階調を際立たせ、力強い臨場感に。

MEMO

● 以下のように変換してコピーします。

変換前の画質とサイズ	変換後の画質とサイズ		
	24Mbps（1920×1080）	17Mbps（1920×1080）	4Mbps（1280×720）
24Mbps（1920×1080）	○	○	○
17Mbps（1920×1080）	○	○	○
4Mbps（1280×720）*	–	–	○

* MP4形式の動画のみ

● 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、MP4変換が停止することがあります。
● 以下のシーンはMP4変換できません。
  ■ スロー記録（1/4倍）した3Mbpsのシーン。
  ■ ⁂と表示されているインターバル記録した結合前のシーン。
● 24Pと30Pのシーンを結合してMP4変換することはできません。

パソコンに保存する

撮影した動画や静止画を万一に備えてパソコンに保存(バックアップ)しましょう。AVCHD形式の動画はTransfer Utility LE*1、MP4形式の動画や静止画はImageBrowser EX*2を使って保存します。

*1 PIXELA社製のAVCHD形式の動画用ソフトウェア。

*2 MP4形式の動画や静止画用ソフトウェア。

■ AVCHD形式の動画を保存する（Windowsのみ）

動作環境など詳細はTransfer Utility LE取扱説明書（電子マニュアル）をご覧ください。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO　再生

準備する

ソフトウェアTransfer Utility LEをインストールします。ダウンロードする際、インターネット接続が必要です。詳しくはTransfer Utility LE「スタートアップガイド」（付属）をご覧ください。

1 パソコン ソフトウェアをダウンロードする

❶ Transfer Utility LEのzipファイルを株式会社ピクセラのウェブサイトからダウンロードする。
http://pixela.jp/cjtule_dl

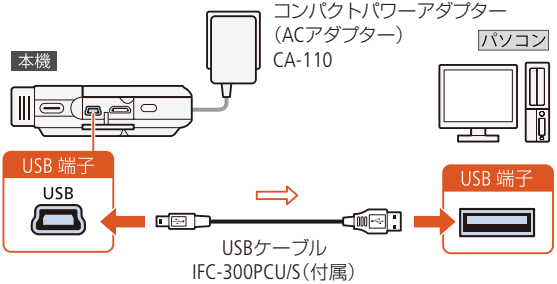
❷ zipファイルを、インストーラ(setup.exe)と取扱説明書（PDF形式の電子マニュアル）に展開する。

2 パソコン ソフトウェアをインストールする

インストーラを起動して、Transfer Utility LEをパソコンにインストールする。

- インストール手順については、Transfer Utility LE取扱説明書をご覧ください。

パソコンに保存する



1 本機 コンパクトパワーアダプター(ACアダプター)をつなぐ

2 本機 見るモードにして、AVCHD形式の動画インデックス画面を表示する (44)

3 本機とパソコンを付属のUSBケーブルでつなぐ

- 右のアイコンをダブルクリックすると、パソコンの画面にTransfer Utility LEの起動画面が出る。

4 パソコン Transfer Utility LEを操作してパソコンに保存する

画面の案内に従って操作する

参考 ▸▸ Transfer Utility LEの取扱説明書(電子マニュアル)

■ MP4形式の動画／静止画を保存する

ソフトウェアImageBrowser EXを使って、MP4形式の動画や静止画をパソコンに保存できます。
動作環境など詳細は「ImageBrowser EXガイド」(電子マニュアル)をご覧ください。
また、CANON iMAGE GATEWAYに登録(無料)すると、オンラインアルバムの公開やPHOTOPRESSO(フォトブックサービス)の作成などを利用できます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

準備する

ソフトウェアImageBrowser EXをインストール*しましょう。すでにインストールされているときでも再度インストールしてください。カメラに最適な更新や新しい機能をオートアップデート機能により追加できることがあります。
* インターネットに接続されているパソコン (WindowsまたはMac)にインストールできます。

1 パソコン ソフトウェアをダウンロードする

❶ ImageBrowser EXを下記のウェブサイトからダウンロードする。
http://www.canon.com/icpd/
「日本」を選んだ後、ダウンロードページへ進んでください。

2 パソコン ソフトウェアをインストールする

❶「おまかせインストール」または「選んでインストール」をクリックする。

- 以降は、画面の案内に従って操作する。
- Windowsの場合、ユーザーアカウント制御の画面が出たときは、メッセージの案内に従って操作する。
- 「Microsoft Silverlight」のインストール画面が出たときは、インストールする。
- CameraWindowも同時にインストールされる。

❷ 正しくインストールできたか確認する。

- 以下の場所にImageBrowser EXアイコンがあればインストール成功。

Windowsの場合

デスクトップにショートカットが表示される。

Macの場合

Dockに表示される。

- ImageBrowser EXのアイコンがない場合は、インターネットへの接続を確認した上で、あらためてインストールする。

パソコンに保存する

1 本機 コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

2 本機 見るモードにして、MP4形式の動画または静止画のインデックス画面を表示する（📖44、51）

3 本機とパソコンを付属のUSBケーブルでつなぐ

4 パソコン MP4形式の動画や静止画を保存する

参考 ▶▶ ImageBrowser EXガイドの「（EOS DIGITALカメラ以外）CameraWindowを使ってパソコンに画像を取り込む」

- ImageBrowser EXガイドは、ImageBrowser EXの「？（ヘルプ）」→「ImageBrowser EXガイド」をクリックして表示する。

Windowsの場合

パソコンを操作してCameraWindowを起動する。

Macの場合

CameraWindowが自動で表示される。

ご注意

- パソコンに接続しているときは次のことを必ず守ってください。
  - カードカバーを開けない。
  - カードを抜き差ししない。
  - パソコンから本機のカード内のフォルダーやファイルを直接操作しない。記録したデータが破損するおそれがあります。AVCHD形式の動画はTransfer Utility LEで、MP4形式の動画や静止画はImageBrowser EXを使ってパソコンに保存することをおすすめします。
- 大切な元のデータを消さないために、画像は必ずパソコンにコピーし、コピーした画像をパソコンで使用してください。

MEMO

- パソコンによっては正しく動作しなかったり、保存した動画を正しく再生できない場合があります。
- と表示されているインターバル記録した結合前の動画はパソコンで再生できません。
- CameraWindowのバッテリー残量は、実際の残量にかかわらず常に「充分」と表示されます。
- 以下のMP4形式のシーンは、パソコンでは複数のファイルとして認識されます。
  - データ容量が4GBを超えるもの。
  - 記録時間が1時間以上のもの。

静止画やMP4形式の動画を保存するとき

- Windows XP以降やMac OS Xをお使いの場合は、ImageBrowser EXをインストールしなくても、本機とパソコンをUSBケーブルでつなぐだけで静止画やMP4形式の動画をパソコンに取り込めます。

BDレコーダーなどにダビングする

撮影した映像を他のBD（ブルーレイディスク）レコーダーやDVDレコーダーなどにダビングすることができます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

■ ハイビジョン画質のままダビングする

USBケーブル（付属）でAVCHD規格対応のレコーダーなどと接続すれば、ハイビジョン画質のままダビングできます。また、レコーダーがお使いのカードに対応している場合は、カードからダビング可能です。なお、本機との動作確認については、お使いのレコーダーの説明書やホームページなどでご確認ください。

1 本機 コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

2 本機 見るモードにする

3 本機 AVCHD形式の動画インデックス画面を表示する（🕮44）

4 本機とレコーダーを付属のUSBケーブルでつなぐ

5 レコーダー ダビングする

参考 ▸▸ お使いのレコーダーの説明書

Chapter

6 Wi-Fi(無線接続)

Wi-Fiで何ができるの？ ……130
Wi-Fi機能を使ってできることを紹介。

スマートフォンなどをリモコンにして撮る ……133
離れた場所のビデオカメラをスマートフォンから操作して撮影したいとき。

スマートフォンなどのWebブラウザーで見る ……141
スマートフォンなどで本機の動画・静止画を見たいときに。

iOS機器に保存／Webサービスで共有 ……144
iPhoneなどで再生や保存したり、インターネットにアップロードしたりしたいとき。

Webサービスで共有する ……147
動画や静止画をYouTubeやFacebookなどで公開したいとき。

パソコンなどで見る ……157
本機内の映像をパソコンなどで観賞したいとき。

アクセスポイントにWi-Fi接続する ……160
アクセスポイント(無線親機)への接続のしかた。

Wi-Fi設定を表示／変更する ……167
Wi-Fi接続の設定を表示、変更したいとき。

用語の説明 ……170
用語の意味を知りたいとき。

Wi-Fiで何ができるの？

無線でスマートフォンやパソコンなどと接続し、動画や静止画を他機に保存したり、Webサービスにアップロードしたりできます。Wi-Fi関連の用語については「用語の説明」(🕮170)をご覧ください。

iPhoneやiPadなど (iOS)

- iPhoneやiPadなどをリモコンとして使って撮る (🕮133)。
- iPhoneやiPadなどで再生、保存。YouTubeやFacebookにアップロード (🕮144)。
- Webブラウザーでビデオカメラにアクセスして再生 (🕮141)。

スマートフォンやタブレット (Android)

- スマートフォンやタブレットをリモコンとして使って撮る (🕮133)。
- Webブラウザーでビデオカメラにアクセスして再生、保存 (🕮141)。

パソコン

- Webブラウザーでビデオカメラにアクセスして再生 (🕮141)。
- アクセスポイント経由でビデオカメラの動画や静止画を再生 (🕮157)。

CANON iMAGE GATEWAY

CANON iMAGE GATEWAY

- アクセスポイント経由でCANON iMAGE GATEWAYやYouTube、Facebookなどにアップロード (🕮147)。

■ Wi-Fi機能を使う前に

Wi-Fi接続には、スマートフォンなどのWi-Fi機器と直接接続する方法と、アクセスポイント(無線親機)*を使用して接続する方法の2つがあり、使用するWi-Fi機能によってどちらかに決まります。使いたい機能を選んで画面に従って操作して接続します。

* 無線LAN親機、無線LANルーターなど、メーカーによって名称が異なることがあります。

ご注意

- セキュリティで保護されていない無線LANやネットワーク環境に接続することは避けてください。お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。

MEMO

- Wi-Fi機能使用時は充電したバッテリーやコンパクトパワーアダプター(ACアダプター)を使用することをおすすめします。

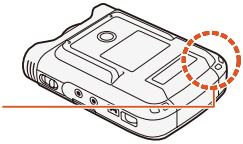
本機の無線LAN 規格について

■ 本機が対応する無線LAN規格は次のとおりです。

無線LAN 規格：	IEEE 802.11b/g/n 準拠
周波数：	2.4 GHz
最大伝送速度（規格値）*：	IEEE 802.11b 最大11Mbps
	IEEE 802.11g 最大54Mbps
	IEEE 802.11n 最大150Mbps

* 表示の値は理論上の最大値であり、実際の転送速度を示すものではありません。

● Wi-Fi接続中は、内蔵ワイヤレスアンテナ付近を手などで覆わないでください。通信電波がさえぎられ、Wi-Fiの通信状態が悪くなります。



● Wi-Fi接続中は、カードカバーを開けないでください。
● Wi-Fi機能使用中は、ホーム画面のセットアップメニューの「オートパワーオフ」は働きません。
● ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）を取り付けているときは、Wi-Fi機能を使用できません。

スマートフォンなどをリモコンにして撮る

ライブストリーミングリモコン

CameraAccess plus*を使うと、離れた場所にあるビデオカメラの映像を手元のスマートフォンなどで見ながらビデオカメラに記録できます。宅内モードではスマートフォンなどに保存することもできます。

* 株式会社ピクセラから、アップル社のApp StoreまたはGoogle™社のGoogle Play™を通じて無料で提供されるソフトウェア（アプリ）。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

■ 家の中で操作する（宅内モード）

家の中などで離れた場所に設置したビデオカメラの映像を、スマートフォンなどの画面で見ながら操作してビデオカメラに記録したり、スマートフォンなどに保存したりできます。

* AUTO 以外の撮影モードで操作すると自動的に AUTO に切り換わります。

1 スマートフォンなど アプリCameraAccess plusをインストールする

App Store:
http://appstore.com/cameraaccessplus

Google Play™:
http://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.pixela.cameraaccessplus

- 2回目から、この操作は不要。

2 本機 動画撮影モードか静止画撮影モードを選ぶ

- 動画を撮影するときは動画撮影モードに、静止画を撮影するときは静止画撮影モードに設定する（38）。

3 本機 宅内モードを選ぶ

❶ 撮るモードで をタッチする。
- ホーム画面が出る。

❷ （ライブストリーミングリモコン）を中央に表示してタッチする。

❸ （宅内モード）を中央に表示して OK をタッチする。
- 画面に「カメラSSID」（Wi-Fiネットワーク名）と「カメラパスワード」が表示され、スマートフォンからの接続待ち状態になる。

4 スマートフォンなど Wi-Fiで本機に接続する

❶ 設定画面でWi-Fiを有効にする。
- 見つかったWi-Fiネットワークが一覧表示される。

❷ 操作3で本機の画面に表示されたSSIDと同じWi-Fiネットワーク名をタッチする。

❸ パスワードを入力して接続する。
- 本機の画面に「動作中」が出たら、接続完了。
- 節電のため1分後に画面が黒くなる。
- 2回目からは、❸の操作なしで自動的に接続される。

5 スマートフォンなど 撮影する

❶ 操作1でインストールしたアプリCameraAccess plusを起動する。

❷ 画面上で操作して撮影する。

6 本機 「終了」をタッチする。

- 宅内モードが終了する。

■ 屋外から操作する（宅外モード）

屋外にいるとき、家の中に設置したビデオカメラの映像をスマートフォンなどで見たり、ビデオカメラに記録できます。

「宅外モード診断」ではWi-Fi環境で宅外モードを使用できるかどうかの目安を確認できます（Windowsのみ）。詳しくは株式会社ピクセラのホームページをご覧ください。
http://pixela.jp/cjrmc

* 宅外モードを使用する場合、UPnP（Universal Plug and Play）対応のアクセスポイントと、グローバルIPアドレスが取得可能なインターネット接続環境が必要です。

準備する

例 初めて宅外モード設定やアクセスポイントへの接続を行う場合

1 スマートフォンなど アプリCameraAccess plusをインストールする

134ページの操作1 を行う。

- すでにCameraAccess plusをインストールしているときは、この操作は不要。

2 本機 動画撮影モードか静止画撮影モードを選ぶ

- 動画を撮影するときは動画撮影モードに、静止画を撮影するときは静止画撮影モードに設定する（🕮38）。

3 本機 宅外モードを選ぶ

❶ 撮るモードで ⌂ をタッチする。
- ホーム画面が出る。

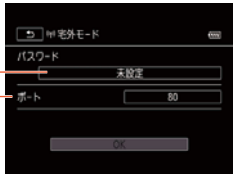
❷ (ライブストリーミングリモコン)を中央に表示してタッチする。

❸ (宅外モード)を中央に表示して OK をタッチする。または、中央に表示させたアイコンをタッチする。

❹ OK をタッチする。

4 本機 パスワードとポートを入力する

宅外モード設定が済んでいるときはこの操作は不要。



❶ パスワード入力エリアをタッチする。

❷ 4~8 文字のパスワード*を入力して OK をタッチする。

* 宅外モード使用時に必要なパスワード。8文字（英数字混合）で設定することをおすすめします。

❸ ポート番号入力エリアをタッチする。

❹ ポート番号を入力して OK をタッチする。

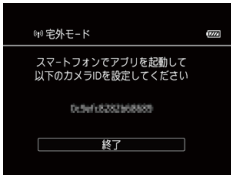
参考 ▸▸「文字入力のしかた」（139）

- 通常は「80」を使用し、必要に応じて変更。

❺ OK を2回タッチする。

5 本機 アクセスポイントに接続する

- アクセスポイントが登録済みのときは、自動的に接続。未登録のときは、「アクセスポイントを登録します」が出る。



❶ OK をタッチする。

❷「アクセスポイントにWi-Fi接続する」（160）の手順に沿って、アクセスポイントに接続する。

- 右の画面が表示されたら、接続完了。

6 スマートフォンなど カメラIDとパスワードを登録する

- 本機とスマートフォンなどが同じアクセスポイントに接続されている場合、自動でカメラIDを登録できる。
- カメラIDを登録済みのときはこの操作は不要。

カメラIDを自動で登録するとき

❶ 操作5で登録したアクセスポイントに接続する。
❷ CameraAccess plusを起動する。
❸ 「設定」→「開始」をタッチする。
- カメラIDがスマートフォンに登録される。

❹ 「終了」をタッチする。
❺ アクセスポイントの接続を解除する。

カメラIDを手動で登録するとき

❶ CameraAccess plusを起動する。
❷ 画面に従って本機の画面に表示されたカメラIDを入力する。

宅外モードを使用する

1 スマートフォンなど Wi-Fiで本機に接続する

❶ 屋外でCameraAccess plusを起動する。
❷ Wi-Fiに接続し、「開始」をタッチする。
❸ 137ページの操作4で設定したパスワードを入力し、「接続」をタッチする。

2 スマートフォンなど 画面上で操作して撮影する

宅外モードを終了する

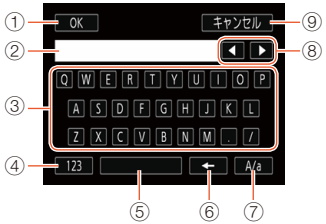
1 本機「終了」をタッチする

- 宅外モードが終了する。

POINT

文字入力のしかた

手動で文字入力が必要なとき、キーボードが表示されます。



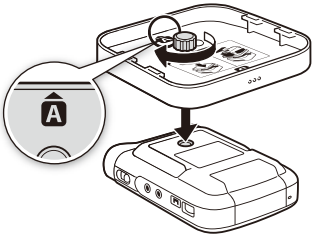
①	OK	入力を決定したあと、キーボードを終了
②	—	入力フィールド
③	—	文字入力キー
④	123 / ABC	アルファベット／数字の切替
⑤	—	スペースキー
⑥	←	バックスペースキー（カーソルの左の文字を削除）
⑦	A/a / #%? / *&+	アルファベット入力設定時：大文字／小文字の切替 数字入力設定時：記号入力
⑧	◀ ▶	カーソル移動キー
⑨	キャンセル	入力を中止

MEMO

- CameraAccess plusの詳細については、株式会社ピクセラのホームページをご覧ください。
  http://pixela.jp/cjcap
- CameraAccess plusの画面では、動画撮影モードと静止画撮影モードを切り換えることはできません。操作2(📖134、136)のように、あらかじめ動画撮影モードと静止画撮影モードを設定してから操作してください。
- 本機への動画の記録開始／停止時や静止画記録時、ワイド／アップ切り換え時に、スマートフォンなどに表示される映像が一時的に途切れます。
- ライブストリーミングリモコンで記録時は、「ポジション検出」の設定にかかわらず、134ページと136ページの操作3のときのビデオカメラの状態で記録されます。
- MP4形式の動画で、フレームレートを「24P」に設定しているときは、自動的に「30P」に切り換わります。
- お使いの回線や電波の状況によっては、映像が途切れたり、反応が遅くなったりすることがあります。

カメラパンテーブルCT-V1(別売)について

- CT-V1を使うと、CameraAccess plus をインストールしたスマートフォンなどをリモコンとして使って、本機の向きを左右に振って (パン)撮影できます。
- CT-V1を取り付ける向きはビデオカメラによって異なります。カメラベースの裏側のA方向に本機のレンズを向けて合わせてください。詳しくは「カメラパンテーブルCT-V1 使用説明書」をご覧ください。



スマートフォンなどのWebブラウザーで見る

リモートブラウズ

動画や静止画をスマートフォンやタブレット、Wi-Fiに対応したパソコンなどのWebブラウザーで再生したり保存したりすることができます*。

* お使いの機器、OS、ブラウザーや録画モードによっては、再生や保存ができないことがあります。動作を確認したOS、ブラウザーなどの詳細情報については、キヤノンのホームページをご覧ください。

ビデオカメラ

スマートフォンやタブレット
(iOS / Android ™)、パソコン

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 本機 見るモードのインデックス画面で ⌂ をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 本機 リモートブラウズを選ぶ

❶ (Wi-Fi)を中央に表示してタッチする。

❷ (リモートブラウズ)を中央に表示して OK をタッチする。または、中央に表示させたアイコンをタッチする。

- 画面に「カメラSSID」(Wi-Fiネットワーク名)と「カメラパスワード」が表示され、スマートフォンなどからの接続待ち状態になる。

3 スマートフォンなど Wi-Fiで本機に接続する

❶ 設定画面でWi-Fiを有効にする。
- 見つかったWi-Fiネットワークが一覧表示される。

❷ 本機の画面に表示されているSSIDと同じWi-Fiネットワーク名をタッチする。

❸ パスワードを入力して接続する。
- 2回目からは、❸の操作なしで自動的に接続される。

4 スマートフォンなど Webブラウザーを起動して本機に接続する

本機の画面に表示されているURLをWebブラウザーに入力する。
- 「Remote Browse」の画面が出たら、接続完了。
- URLは固定されているため、Webブラウザーでブックマークしておけば、2回目からは入力不要。

5 スマートフォンなど 動画または静止画を選んで再生する

❶ 左上の SD AVCHD をタッチ→再生する AVCHD、MP4 または をタッチ。

❷ 一覧から再生する画像をタッチする。

MP4形式の動画のとき

画像をタッチする。
- 動画または静止画が再生される。
- AVCHD形式の動画は再生できない。
- がついているインターバル記録した結合前のシーンは表示されない。

❸ をタッチすると、一覧画面に戻る。

スマートフォンに保存するとき（iOS機器以外）

❷で をタッチする。

6 本機「終了」→ OK をタッチする

- リモートブラウズが終了する。

MEMO

- MP4形式の動画で、データ容量が4GBを超えるシーンや1時間を超えるシーンは、スマートフォンなどでは複数のファイルとして認識されます。
- パソコンのWi-Fi接続方法の詳細はパソコンやOSなどの説明書をご覧ください。

iOS機器に保存／Webサービスで共有

Movie Uploader

iPhoneやiPadなどにMovie Uploader*をインストールすると、YouTubeやFacebookにアップロードすることができます。MP4形式の動画や静止画は、iOS機器に保存したり再生したりすることもできます。

* 株式会社ピクセラから、アップル社のApp Storeを通じて無料で提供されるソフトウェア（アプリ）。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO P　再生

1 iOS機器 App StoreからMovie Uploaderをインストールする

App Store:
http://appstore.com/movieuploader

- 2回目からは、この操作は不要。

2 本機 見るモードのインデックス画面で ⌂ をタッチする

- ホーム画面が出る。

3 本機 Movie Uploaderを選ぶ

❶ (Wi-Fi)を中央に表示してタッチする。

❷ (Movie Uploader)を中央に表示して OK をタッチする。または、中央に表示させたアイコンをタッチする。

- 「カメラSSID」(Wi-Fiネットワーク名)と「カメラパスワード」が表示され、iOS機器からの接続待ち状態になる。

4 iOS機器 Wi-Fiで本機に接続する

❶ 「設定」アプリの「Wi-Fi」をタッチし、「Wi-Fi」を「オン」にする。

- Wi-Fiネットワークが一覧表示される。

❷ 本機の画面に表示されているSSIDと同じWi-Fiネットワーク名をタッチする。

❸ パスワードを入力して接続する。

- 本機の画面に「動作中」が出たら、接続完了。
- 2回目からは、❸の操作なしで自動的に接続される。

5 iOS機器 保存したりアップロードする

❶ 操作1でインストールしたアプリMovie Uploaderを起動する。

❷ Movie Uploaderを操作して、動画や静止画をアップロードしたり、再生や保存したりする。

6 本機 「終了」→ OK をタッチする

- Wi-Fi接続が終了し、インデックス画面に戻る。

MEMO

- 通信状態によっては、アップロードの時間が長くなることがあります。
- お使いの機器のiOSバージョンによっては、Wi-Fi接続の操作が異なることがあります。
- iOSアプリの詳細については、株式会社ピクセラのホームページをご覧ください。
  http://www.pixela.co.jp/oem/canon/j/movieuploader/
- データ容量が4GBを超えるシーンや1時間を超えるシーンは、スマートフォンなどでは複数のファイルとして認識されます。

Webサービスで共有する

Webサービスに接続

CANON iMAGE GATEWAY(キヤノンイメージゲートウェイ)*1に会員登録すると、オンラインアルバムに動画や静止画をアップロードして、Twitterに公開したり、FacebookやYouTubeにアップロードしたり、オンラインアルバムのリンクを家族や友人にメールで送ったりできます。なお、この機能を使用するには、インターネットに接続可能なアクセスポイントが必要です。

*1 オンラインアルバムやPHOTOPRESSO(フォトブックサービス)などを利用できます(無料)。

*2 本書では、CANON iMAGE GATEWAYと連携するインターネットのサービスを「Webサービス」と呼びます。

動画形式 AVCHD MP4 撮影モード AUTO P 再生

■ 準備する

1 CANON iMAGE GATEWAYの会員登録(無料)をする

- スマートフォンやタブレットなどのWebブラウザーで次のURLにアクセスし、画面の指示にしたがって登録する。
  http://www.canon.com/cig/

2 使用するWebサービスのアカウント情報を確認する

- Facebook、Twitter、YouTube、Google Drive™のうち、使用するWebサービスのユーザー名とパスワードを確認する。

■ 使用するWebサービスをビデオカメラに登録する

CANON iMAGE GATEWAYにログインし、使用するWebサービスをビデオカメラに登録します。

1 本機 見るモードのインデックス画面で ⌂ をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 本機 Webサービスに接続を選ぶ

❶ (Wi-Fi)を中央に表示してタッチする。

❷ ☁ (Webサービスに接続)を中央に表示して [OK] をタッチする。または、中央に表示させたアイコンをタッチする。

3 本機 アクセスポイントに接続する

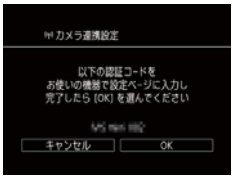
- アクセスポイントが登録済みのときは、自動的に接続。未登録のときは、「アクセスポイントを登録します」が出る。

❶ [OK] をタッチする。

❷ 「アクセスポイントにWi-Fi接続する」(📖160)の手順に沿って、アクセスポイントに接続する。

4 本機 認証コードを発行する

❶ 画面に表示されるをタッチする。
❷「認証コード発行」をタッチする。
- 認証コードが表示される。

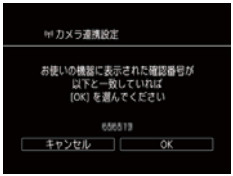


5 スマートフォンなど CANON iMAGE GATEWAYにログインする

❶ CANON iMAGE GATEWAYのログイン名とパスワードを入力→「ログイン」をタッチする。
❷「オンラインアルバム」→「カメラ連携設定」をタッチする。
❸ 操作4で本機に表示された認証コードを「カメラ連携設定」画面で入力する。

6 本機 確認番号を確認する

❶ 画面に表示された確認番号が、スマートフォンなどに表示された確認番号と一致しているかを確認して[OK]をタッチする。



7 スマートフォンなど カメラ連携を開始する

❶ カメラ連携が始まり、しばらくすると画面に「確認」が表示されるので、1分以内にタッチする。

- エラーが表示されたときは、操作1から設定しなおす。

8 本機 設定を終了する

- カメラ連携設定が終了すると、「Webサービスに接続」の画面が表示される。

利用できるWebサービス*

Webサービス	できること
CANON iMAGE GATEWAY	オンラインアルバムに動画や静止画をアップロード。
Facebook	Facebookに動画や静止画を直接アップロード。
Twitter	CANON iMAGE GATEWAYのオンラインアルバムのリンク（URL）をタイムラインに表示。
YouTube	YouTubeに動画を直接アップロード。
Google Drive	Google Driveに動画や静止画を直接アップロード。
メール	CANON iMAGE GATEWAYのオンラインアルバムのリンク（URL）をメールで送信。宛先は20まで登録可。

* 利用できるWebサービスは更新されることがあります。詳しくはCANON iMAGE GATEWAYのヘルプなどをご覧ください。

■ Webサービスをビデオカメラに追加／削除する

他のWebサービスを追加したり、登録したWebサービスを削除したりします。

1 スマートフォンなど Webサービスの設定画面を表示する

CANON iMAGE GATEWAYにログインして、Webサービスの設定画面を表示する。

2 スマートフォンなど Webサービスを追加／削除する

画面にしたがってWebサービスの追加／削除をおこなう。

3 本機 Webサービスの設定を更新する

「Webサービスに接続」画面の をタッチする

- Webサービスの設定が更新される。

MEMO

- 本機の日付設定が正しくないときは、CANON iMAGE GATEWAYに接続できません。接続の前に本機の設定を確認してください。
- 登録数が上限に達すると新たなWebサービスを登録できません。このときは、不要なWebサービスを削除してから、使用したいWebサービスを登録してください。
- メール以外のWebサービスには、複数のアカウントを設定できません。

■ 動画や静止画をWebサービスに公開する

撮影した動画や静止画をWebサービスに公開して、家族や友人と共有できます。

1 見るモードのインデックス画面で ⌂ をタッチする

- ホーム画面が出る。

2 「Webサービスに接続」を選ぶ

❶ (Wi-Fi)を中央に表示してタッチする。

❷ (Webサービスに接続)を中央に表示して OK をタッチする。または、中央に表示させたアイコンをタッチする。

3 アクセスポイントに接続する

- アクセスポイントが登録済みのときは、自動的に接続。未登録のときは「アクセスポイントを登録します」が出る。

❶ OK をタッチする。

❷ 「アクセスポイントにWi-Fi接続する」(📖160)の手順に沿って、アクセスポイントに接続する。

- 「Webサービスに接続」画面が出たら、接続完了。

4 使用するWebサービスを選ぶ

画面に表示されるいずれかのWebサービスをタッチする。

アップロードをメールで通知するとき

❶ ✉をタッチする。

- 送信先の選択画面に登録済みの宛先が出る。

❷ 宛先をタッチする。

5 アップロードするデータを選ぶ

いずれかを選ぶ。

使用するWebサービスによって、アップロード出来るデータが異なります。

	AVCHD 動画	MP4 動画	静止画	ビデオスナップ（MP4形式）
CANON iMAGE GATEWAY		○	○	○
Facebook		○	○	○
Twitter		○	○	○
YouTube*	○	○		○
Google Drive*	○	○	○	○
メール		○	○	○

* AVCHD形式のビデオスナップはAVCHD動画インデックス画面からアップロードします。

6 シーンまたは静止画を選ぶ

動画のとき

シーンをタッチする。

- ⁂がついているインターバル記録した結合前のシーンは選べない。

静止画のとき

❶ アップロードする静止画をすべてタッチする。

- 10枚までアップロードできる。
- もう一度タッチすると選択が解除される。
- 選択をすべて解除するときは「全解除」→「はい」をタッチする。

❷ 〔実行〕をタッチする。

7 アップロードする

YouTubeのとき

利用規約を確認して、同意する場合は「同意する」をタッチする。

- アップロードがはじまる。

中止するとき

「中止」をタッチする。

8 〔OK〕をタッチする

CANON iMAGE GATEWAYのライブラリで確認する

CANON iMAGE GATEWAYにアップロードした動画や静止画は、ライブラリ画面またはアルバム画面で確認できます。また、Webサービスの設定情報一覧や送信履歴を確認することもできます。CANON iMAGE GATEWAYの詳細については「ヘルプ」をご覧ください。

1 スマートフォンなど CANON iMAGE GATEWAYにログインする。

2 スマートフォンなど「オンラインアルバム」をクリックする。

- ライブラリ画面が表示される。

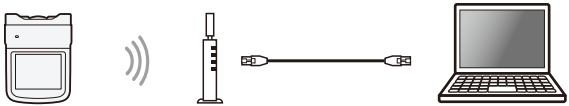
MEMO

- 一度にアップロードできる動画は1シーン、静止画は10枚までです。アップロードできる動画の最大時間やサイズはWebサービスによって異なります。
- アクセスポイントの性能や設定、通信状態によっては、アップロードに時間がかかることがあります。
- メールアドレスには、半角英数字と記号が使用できます。また、@マークより前の文字数は、最大16文字です。

パソコンなどで見る

メディアサーバー

本機に記録した動画や静止画を、パソコンなどで再生できます。家庭内ネットワークに接続されたアクセスポイント(無線親機)と、メディアサーバーの動画／静止画を再生できるソフトウェアが必要です。また、パソコンなどとアクセスポイントは、LANケーブルを使用して有線で接続することをおすすめします。アクセスポイントやパソコンなどについては、それぞれの説明書をご覧ください。



動画形式 AVCHD MP4　撮影モード AUTO　再生

1 見るモードのインデックス画面で ⌂ をタッチする

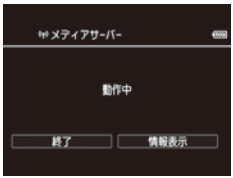
- ホーム画面が出る。

2 本機 メディアサーバーを選ぶ

❶ (Wi-Fi)を中央に表示してタッチする。

❷ (メディアサーバー)を中央に表示して OK をタッチする。または、中央に表示させたアイコンをタッチする。

3 本機 無線親機（アクセスポイント）に接続する



- アクセスポイントが登録済みのときは、自動的に接続する。
- アクセスポイントが未登録のときは、「アクセスポイントを登録します」が出る。

❶ OK をタッチする。

❷「アクセスポイントにWi-Fi接続する」（📖160）の手順に沿って、アクセスポイントに接続する。

- 画面に「動作中」が出たら、接続完了。

アクセスポイントの情報を表示するとき

「情報表示」をタッチする。

- アクセスポイントのSSIDや接続規格、本機のIPアドレスやMACアドレスを確認できる。
- 「接続先変更」をタッチすると、本機に登録されている他のSSIDに接続先を変更できる。

4 パソコンなど 本機の動画や静止画を再生する

❶ お使いの機器を操作して、サーバーの一覧から本機の名前「Canon iVIS mini X」を選ぶ。

❷ 表示されるフォルダー内の動画または静止画を選んで再生する。

参考 ▸▸ お使いのソフトウエアの説明書

- ⁘がついているシーンは表示されない。

5 本機「終了」→ OK をタッチする

- メディアサーバーを終了する。

MEMO

- アクセスポイントの性能や設定、通信状態によっては、再生までに時間がかかることや、スムーズに動画が再生されないことがあります。詳しくは、「故障かな？」の「動画がパソコンなどからスムーズに再生されない」(181)をご覧ください。

アクセスポイントにWi-Fi接続する

アクセスポイント(無線親機)に接続します。アクセスポイントへの接続設定は、本機に4つまで記憶されます。

動画形式 AVCHD MP4 撮影モード 再生

■ 必要なものを確認する

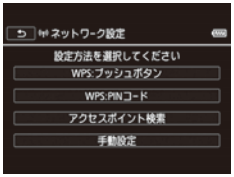
Wi-Fi接続を行う前に、必要なものを確認してください。

- アクセスポイントは、Wi-Fi認証を受け(右のロゴマークがある)、無線LAN規格IEEE802.11b/g/n対応のものであること。
- アクセスポイントと家庭内ネットワークが正しくセットアップされていること。

■ 接続方法を選ぶ

接続方法は次の4種類から選択できます。アクセスポイントについては、お使いの機器の説明書をご覧ください。

1 本機 使用する接続方法をタッチする



「WPS:プッシュボタン」のとき(161)
「WPS:PINコード」のとき(162)
「アクセスポイント検索」のとき(163)
「手動設定」のとき(164)

WPS*：プッシュボタン	アクセスポイントのボタンを押し続けたあと、本機の画面をタッチするだけ。アクセスポイントがWPSに対応していれば一番簡単に接続できます。
WPS*：PINコード	Webブラウザーからアクセスポイントの設定画面を開き、ビデオカメラの画面に表示された番号を入力します。アクセスポイントがWPSに対応していて、パソコンなどアクセスポイントに接続済みの機器が必要です。
アクセスポイント検索	本機の画面で、お使いのアクセスポイントの名前を選び、パスワードを入力します。
手動設定	アクセスポイントの名前とパスワードのほか、さまざまなネットワーク設定を手動で行います。無線LANやネットワークに詳しい上級者用の設定方法です。

* WPSとは、アクセスポイントへの接続を簡単に行うための規格です。

■ WPSで接続する

お使いのアクセスポイント(無線親機)がWPSに対応していれば、本機とアクセスポイントを簡単に接続できます。WPSの接続には、プッシュボタン方式とPINコード方式があります。なお、WPSでうまく接続できないときは、「アクセスポイント検索で接続する」(163)をお試しください。

「WPS：プッシュボタン」の場合

1 無線親機 WPS用のボタンを長押しして WPSを起動する

- 長押しの時間は無線親機によって異なる。無線親機の説明書をご覧の上、無線親機をWPS起動状態にする。

「WPS：PINコード」の場合

1 無線親機 PINコードを設定してWPSを起動する

❶ パソコンなど無線親機と接続済みの機器のWebブラウザーから、WPS（PINコード方式）の設定画面を開く。

❷ ビデオカメラの画面に表示された8桁の数字を入力して、WPSを起動する。

2 本機 無線親機へ接続する

❶ 操作1から2分以内に OK をタッチする。

- 無線親機への接続を開始する。

接続を中止するとき

「中止」→ OK をタッチする。

❷ OK をタッチする。

- 接続が完了すると、選んだ機能の画面に戻る。
  「スマートフォンなどをリモコンにして撮る」へ（📖133）
  「Webサービスに接続」へ（📖149、154）
  「パソコンなどで見る」へ（📖157）
  「アクセスポイント接続設定」へ（📖168）

■ アクセスポイント検索で接続する

ビデオカメラが周囲のアクセスポイントを自動的に検出します。接続するアクセスポイントを選んでパスワード(暗号化キー)を入力し接続します。

1 アクセスポイントの設定情報を確認する

- 接続するアクセスポイントのSSIDと暗号化キー(必要なとき)をあらかじめ確認する。

2 接続するアクセスポイントを選ぶ

- 検出されたアクセスポイントのSSIDが出る。

❶ ▲ / ▼をタッチして接続するアクセスポイントを選ぶ。

❷ OKをタッチする。

3 アクセスポイントの暗号化キー(パスワード)を入力する

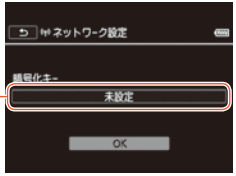
- 操作2で選んだアクセスポイントに🔒が表示されていない場合、この操作は不要。

❶ タッチする。

❷ 暗号化キーを入力→OKをタッチする。

参考 ▸▸「文字入力のしかた」(📖139)

❸ OKをタッチする。



4 OK をタッチする

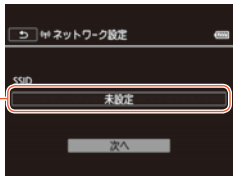
- 接続が完了すると、選んだ機能の画面に戻る。
  「スマートフォンなどをリモコンにして撮る」へ（📖133）
  「Webサービスに接続」へ（📖149、154）
  「パソコンなどで見る」へ（📖158）
  「アクセスポイント接続設定」へ（📖168）

■ 手動設定で接続する

アクセスポイントへの接続を手動で設定します。また、ステルス機能が有効になっていることなどにより、「アクセスポイント検索」でアクセスポイントが検出されないときも手動で接続できます。この接続方法は、無線LANやネットワークに詳しい上級者の方のみご利用ください。

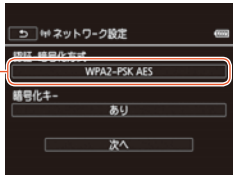
1 SSIDを入力する

❶ タッチする。
❷ SSIDを入力→ OK をタッチする。
参考 ▸▸「文字入力のしかた」（📖139）。
❸ 「次へ」をタッチする。



2 認証-暗号化方式を選択する

❶ タッチする。
❷ いずれかの認証・暗号化方式をタッチする。
- 「OPEN WEP」選択時、WEPインデックスは1となる。



3 暗号化キーを入力する

- 操作2で「OPEN NONE」を選んだ場合、この操作は不要。

❶ 暗号化キー入力エリアをタッチする。

❷ 暗号化キーを入力→[OK]をタッチする。

参考 ▸▸「文字入力のしかた」(📖139)

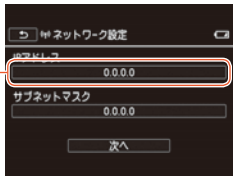
❸「次へ」をタッチする

4 IPアドレスの取得方法を選ぶ

「オート」または「マニュアル」をタッチする。

- 「オート」をタッチしたときは操作6に進む。

5 IPアドレスなどをマニュアルで設定する



❶ タッチする。

❷ ▲ ／ ▼をタッチしてIPアドレスの各値を入力→[OK]をタッチする。

❸ ❶ ～ ❷と同じ要領でサブネットマスクを入力→「次へ」をタッチする。

❹ ❶ ～ ❷と同じ要領でデフォルトゲートウェイを入力→「次へ」をタッチする。

❺ ❶ ～ ❷と同じ要領で各DNSサーバーを入力→「次へ」をタッチする。

6 OKをタッチする

- 設定が保存される。
- 接続が完了すると、選んだ機能の画面に戻る。
  「スマートフォンなどをリモコンにして撮る」へ（📖133）
  「Webサービスに接続」へ（📖149、154）
  「パソコンなどで見る」へ（📖158）
  「アクセスポイント接続設定」へ（📖168）

MEMO

● 使用できるWi-Fiの機能とセットアップ方法は、お使いのWi-Fiネットワークの設定や制限などによって異なります。

Wi-Fi設定を表示／変更する

Wi-Fi機器やアクセスポイントへ接続したり、宅外モードを使用したりするときの設定内容を表示し、変更することができます。

動画形式 AVCHD MP4　撮影モード　再生

1 をタッチする

- 撮るモードのとき、または見るモードのインデックス画面でタッチする。
- ホーム画面が出る。

2 「設定確認/変更」を選ぶ

❶ 撮るモードのときは（ライブストリーミングリモコン）、見るモードのときは（Wi-Fi）を中央に表示してタッチする。または、中央に表示させたアイコンをタッチする。

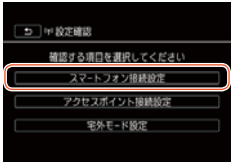
❷ （設定確認/変更）を中央に表示して OK をタッチする。

■ スマートフォンの接続設定を確認／変更する

1 スマートフォン接続設定を選ぶ

❶ 「スマートフォン接続設定」をタッチする。

- ビデオカメラのSSIDとパスワードが出る。



例：撮るモードの場合

設定を変更するとき

「編集」→ OK を2回タッチする。

- 本機のSSIDとパスワードが変更される。
- 次回接続時は、スマートフォンのWi-Fi設定の変更が必要となる。

❷ を2回タッチして「設定確認/変更」画面を出す。

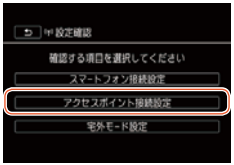
- 設定を変更したときはこの操作は不要。

2 ⮌→✕をタッチする

■ アクセスポイントの接続設定を確認／変更する

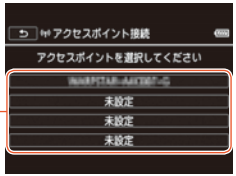
1 「アクセスポイント接続設定」をタッチする

- 本機に記憶されている4つのSSIDが表示される。



例：撮るモードの場合

2 設定を確認する



❶ 設定を表示するSSIDをタッチする。

- 「未設定」をタッチすると、「アクセスポイントにWi-Fi接続する」(📖160)の操作に進み、接続が終わると、「設定確認/変更」画面に戻る。

❷ ▲／▼で表示内容を切り換える。

設定を消去するとき

❶ 「編集」→「消去」→「はい」をタッチする。

❷ ⮌を2回タッチする

設定を変更するとき

「編集」→「手動設定」をタッチする。

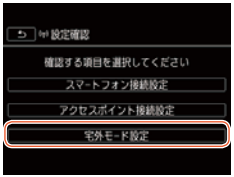
- 「手動設定で接続する」(📖164)の操作に進む。

❸ ⮌を3回タッチして「設定確認/変更」画面を出す。

3 ⮌→✕をタッチする

■ 宅外モード設定を確認／変更する（撮るモードのみ）

1 宅外モード設定を選ぶ



❶「宅外モード設定」をタッチする。
- パスワードとポートが出る。

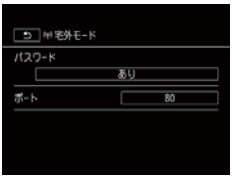
設定を変更するとき

❶ パスワードやポート入力エリアをタッチする。

❷ 入力して［OK］をタッチする。

参考 ▸▸「文字入力のしかた」（📖139）

❷ ⮌を2回タッチして「設定確認/変更」画面を出す。



2 ⮌→✕をタッチする

■ 用語の説明

この章の説明で使われている用語をまとめました。Wi-Fi関連の名称や略語の意味を知りたいときにご覧ください。

用語	説明	📖
暗号化キー	セキュリティで保護（暗号化）されたWi-Fiネットワークに接続するためのパスワード。アクセスポイントに設定され、使用される文字や文字数は、暗号化方式によって異なる。	163
暗号化方式	Wi-Fi通信を暗号化するための方式。暗号の破られにくさが高い順に「WPA2-PSK AES / WPA-PSK AES」、「WPA2-PSK TKIP / WPA-PSK TKIP」、「WEP」となる。	164
サブネットマスク	IPアドレスからネットワークアドレスを識別するための数値。	165
ステルス機能	アクセスポイントなどのSSIDを他の機器から見えないようにする機能のこと。ネットワークへの接続を許可していない機器からの接続を防ぐために設定する。	164
代替DNSサーバー 優先DNSサーバー	パソコンのドメイン名をIPアドレスに変換するサーバーのこと。Domain Name Systemの略。	165
デフォルトゲートウェイ	使用しているネットワークと外部のネットワーク（インターネットなど）をつなぐ出入口となる機器のこと。	165
ポート番号	ネットワークに接続されたパソコンや通信機器内のアプリケーションに割り振られる識別番号のこと。	137
DHCPサーバー	IPアドレスを自動で振り分けるサーバーのこと。Dynamic Host Configuration Protocolの略。	190
IPアドレス	ネットワークに接続されたパソコンや通信機器1台ずつに割り振られる識別番号（4組の数列*）のこと。 * IPv4アドレスの場合。	165
LAN	オフィスや家庭などのネットワークのこと。Local Area Networkの略。	131

用語	説明	📖
PINコード	機器を識別するための認証パスワードのこと。PIN：Personal Identification Numberの略。	160
SSID	アクセスポイントを識別するための名前のこと。任意の英数字（最大32文字まで）を設定できる。Service Set Identifierの略。	163
UPnP	パソコンや通信機器などネットワークに接続された機器が、お互いを認識して、機能を連携させる規格。Universal Plug and Play の略。	136
Wi-Fi(ワイファイ)	Wi-Fi Allianceによって認証された、Wi-Fi機器同士の接続方式の名称。Wireless Fidelityの略。	130
WPS	アクセスポイント（無線親機）のWi-Fi接続やセキュリティの設定を容易に行うための規格。プッシュボタン方式とPINコード方式がある。Wi-Fi Protected Setupの略。	161

Chapter

7 ふろく

故障かな？ ……173
「故障かな？」と思ったときや、いつも通りに操作できないとき。

メッセージが出たら？ ……183
画面にメッセージが出たとき。

安全上のご注意 ……194
安全に使っていただくための注意事項です。かならずお読みください。

取り扱い上のご注意 ……201
取り扱うときに注意していただきたいこと。

日常のお手入れ ……208
本機の汚れが気になったときのお手入れ方法。

海外で使う ……209
旅先で充電する、テレビで見るなど、海外で使うとき。

その他 ……231
アクセサリーや仕様など。

故障かな？

修理に出す前にこの「故障かな？」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センター（📖244）またはご購入になった販売店にご相談ください。

まずココを確認しよう！

電源

- ☐ バッテリーは充電されていますか？（📖16）
- ☐ 本機とコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）は正しく接続されていますか？（📖17）

撮影するとき

- ☐ 電源を入れて撮るモードにしていますか？見るモードになっているときは ▶（再生）ボタンを長押ししてください。
- ☐ 本機にカードが入っていますか？（📖20）

再生するとき

- ☐ 電源を入れて見るモードにしていますか？撮るモードになっているときは ▶（再生）ボタンを長押ししてください。
- ☐ 本機にカードが入っていますか？（📖20）

■ 電源

こんなときは	どうするの？	📖
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	• バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 • バッテリーを正しく取り付け直す。	16 16
バッテリーが充電できない。	• 電源を切ってから充電する。 • バッテリーの温度が使用温度（約0 ℃～ 40 ℃）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 • 周囲の温度が約0 ℃～40 ℃のときに充電する。 • キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、バッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	 16 16 244
コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）から音がする。	• コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を使用中に小さな音がすることがある。故障ではない。	—
常温でバッテリーの消耗が極端に早い。	• バッテリーの寿命と考えられる。新しいバッテリーを購入する。	—

■ 撮影中

こんなときは	どうするの？	📖
START/STOPボタンを押しても録画しない。 ●をタッチしても録画しない。	• 撮影した映像を本機に書き込んでいる間は録画できない。書き込み終了まで待つ。 • カードに空き容量がない。またはAVCHD形式の動画が3999シーン記録されている。不要なシーンや静止画を消すか、初期化する。 • MP4形式の動画や静止画に割り当てられるファイル番号が最大になったため記録できない。新しいカードを入れて、ホーム画面のセットアップメニューの「ファイル番号」を「オートリセット」にする。	— 24 54 60 219
START/STOPボタンを押した時点、●や■をタッチした時点と、記録されたシーンの始めと終わりの時点が異なる。	• START/STOPボタンを押してから、●や■をタッチしてから、録画の開始・終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
被写体が横切るとき、被写体がゆがんで見える。	• 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
動画の●撮影／ ■撮影停止／ ▶再生の切り換えに時間がかかる。	• シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてカードを初期化する。	24 121
動画や静止画を正しく記録できない。	• 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。動画と静止画をバックアップしてカードを完全初期化する。	24 121
長時間使うと熱くなる。	• 長時間使いつづけると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	244

■ 再生中

こんなときは	どうするの？	📖
シーンの消去に時間がかかる。	• シーン数が多いとこのようになることがある。動画と静止画をバックアップしてカードを初期化する。	24 121
ビデオスナップを作成できない。	• 他機で記録したシーンからは作成できない。 • カードに空き容量がない。不要なシーンや静止画を消す。	— 54 60
シーンまたは静止画を選択できない。	• シーンや静止画は、100を超えて選択できない。「選択」ではなく、「全シーン」または「すべての静止画」を選ぶ。	54 60

■ 表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面で[▬]または[▬]が赤く点灯する。	• バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	16
画面で[▬]または[▬]が赤く点灯しているとき、電源を入れ直すことができない。	• バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	16
SD が赤く点灯する。	• カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、カードを初期化する。	20 24
SD ENDが赤く点灯する。	• カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。 • フォルダー番号やファイル番号が最大になった。動画と静止画をバックアップしてから、「オートリセット」してカードを初期化するか、動画と静止画をすべて消す。	20 54 60 219

こんなときは	どうするの？	📖
撮影を中断してもACCESSランプが点灯している。	• 撮影したシーンをカードに書き込んでいる。故障ではない。	—
充電中に電源/充電ランプが速く点滅する。 （0.5秒に1回の点滅）	• バッテリーの温度が使用温度（約0℃～40℃）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 • 周囲の温度が約0℃ ～ 40℃ のときに充電する。 • バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 • コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）、バッテリーに異常があるため、充電を中止した。カメラ修理受付センターにご相談ください。	—

■ 画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
液晶画面が暗い。	• バックライトが低輝度設定になっている。明るくするときは、ホーム画面のセットアップメニューから「液晶バックライト」を選び、「通常」または「高輝度」に設定する。	218
画面がついたり消えたりを繰り返す。	• バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 • バッテリーを正しく取り付け直す。	16 16
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	• バッテリーを取り外し、しばらくしてから入れる。	16
画面や音にノイズが出る。	• プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。 • 外部マイクを取り付けているとき、Wi-Fi機能使用時に音にノイズが出ることがある。なるべく本機から外部マイクを離して使用する。	201 88
画面に横帯が出る。	• 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。フリッカー低減設定で「50 Hz」あるいは「60 Hz」を選択すると低減する。故障ではない。	213
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	• 大きな音の近く（打上げ花火やコンサートなど）で撮影すると、このようになることがある。マイクレベルを手動で調整する。	91
映像は出るが、内蔵スピーカーから音声が出力されない。	• スピーカーやヘッドホンの音量が「切」になっているので、音量を調整する。 • ハイスピードHDMIケーブル（別売）接続中やヘッドホン端子接続中は内蔵スピーカーから音声は出力されない。	48 103

こんなときは	どうするの？	📖
ヘッドホンから音が聞こえない。	• Wi-Fi機能使用中はヘッドホン端子から音声は出力されない。	—

■ アクセサリー

こんなときは	どうするの？	📖
カードが入らない。	• 正しい向きでカードを入れる。	20
カードに記録できない。	• カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。	20 54 60
	• はじめて使用するときは、カードを完全初期化する。	24
	• 動画を記録する場合は、対応しているカードを確認する。	19
	• MP4形式の動画や静止画に割り当てられるファイル番号が最大になったためカードに記録できない。新しいカードを入れて、ホーム画面のセットアップメニューの「ファイル番号」を「オートリセット」にする。	219

■ 他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	• テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）を離す。	—
テレビに映像や音が出ない。	• テレビの設定を、接続した端子に切り換える。	—
	• ハイスピードHDMIケーブル（別売）を抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。	—
	• Wi-Fi機能使用中は映像や音声は出力されない。	—

こんなときは	どうするの？	📖
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	• 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 • パソコンの別のUSB端子につなぐ。	— —
MP4形式の動画や静止画をパソコンに取り込めない。	• カードに2500以上（Windows）/1000以上（Mac）のシーンや静止画があると、パソコンに取り込めないことがある。 • カードリーダーなどを使って取り込む。	— —

■ Wi-Fi 接続

お使いのアクセスポイント（無線親機）の説明書も合わせてご覧ください。

こんなときは	どうするの？	📖
アクセスポイント（無線親機）に接続できない。	• アクセスポイントが正常に起動しているか確認する。 • 電波状況によっては通信可能な距離が短くなることがある。本機とアクセスポイントの距離を近づける。 • コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で操作する。 • Wi-Fi 設定をするとき、アクセスポイントでステルス機能を有効にしていると、アクセスポイントを検出できない。「手動設定」で接続するか、アクセスポイントのステルス機能を無効にする。	— — 203 165

こんなときは	どうするの？	📖
動画がパソコンなどからスムーズに再生されない。	• 接続しているアクセスポイントの性能や設定、通信状態によっては、動画がスムーズに再生されないことがある。	—
	• パソコンとアクセスポイントは、LANケーブルを使用して有線で接続する。	—
	• 本機とアクセスポイントの間に障害物を置かない。	—
	• 本機とアクセスポイントを近づける。	—
	• 接続しているパソコンなど以外のWi-Fi機器、Bluetooth機器などの通信を切る。	—
	• 無線親機（アクセスポイント）の通信を、IEEE802.11 n に切り換える。	—
	• 上記の設定を行っても、機器や環境によっては、スムーズに再生されないことがある。その場合は、ハイスピードHDMIケーブル（別売）をテレビに接続して再生する。	115
ファイル転送中にWi-Fi通信が切れた。	• ファイル転送中にWi-Fi通信が切れると、転送先に不要なファイルが残ることがある。	—
	• ファイル転送が中断したときは、「未転送ファイル」を選び、あらためて転送の操作を行う。新しいファイルとして転送される。	—
	• 転送先に不要なファイルが残っている場合は、十分に内容を確認してから、削除する。	—
本機にWi-Fi接続できない。	• ホーム画面のセットアップメニューの「設定初期化」を行うと、本機のSSIDが初期設定になり、パスワードが変更される。Wi-Fi機器で以前のネットワーク設定を削除したあと、本機に接続する。	—

こんなときは	どうするの？	📖
Webブラウザーでリモートブラウズの画面が正しく表示されない。	• リモートブラウズが対応していないOSやWebブラウザーを使用した。動作環境をキヤノンのホームページで確認する。 • WebブラウザーのCookieとJavaScriptの設定が無効になっている場合は有効にする。Webブラウザーの設定方法については、Webブラウザーのヘルプなどをご覧ください。	— —

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。Wi-Fi機能使用時／Wi-Fi機能のWebサービス使用時のメッセージについては188〜193ページをご覧ください。

メッセージ	どうするの？	📖
空き容量が不足しています	• カードの不要なシーンや静止画を消去するか、MP4動画形式のときは録画モードを「4Mbps」に設定する。	54 60 64
インターバル動画は変換できません	• インターバル記録した結合前のシーンはMP4変換できない。結合した後に変換する。	70
カードがありません	• カードを本機に入れる。 • カチッと音がするまでカードを入れ直す。	20 20
カードがいっぱいです	• カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なシーンや静止画を消す。	20 54 60
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	• カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	21
カードの修復が必要です カードの誤消去防止ツマミを解除してください	• カードに記録中に電源が切れた後、カードの誤消去防止ツマミをLOCK側にした。誤消去防止ツマミを反対側にする。	21
カードへの書き込みが間に合わないため記録を中止しました	• カードの書き込み速度が遅いため、記録を中止した。SDスピードクラス4、6または10のカードを使用する。 • 撮影や編集を繰り返しているカードでは、データの書き込み速度が低下して、記録が停止することがある。本機でカードを完全初期化してから使用する。	19 24

メッセージ	どうするの？	📖
カードに書き込みエラーがあります データの修復を試みますか？	• 記録中に電源がはずれた後、電源を入れた。撮影データを修復するときは「はい」を選ぶ。他機で記録したカードを入れたときは「いいえ」を選ぶことを推奨します。	—
カードを確認してください	• カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。 • カードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。 • マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。 • 「カードを確認してください」が4秒後に消えてSDが赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。SDが緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。	20 — 20 24 121
キャンバスが保存できません	• キャンバスのデータをカードに書き込めない。動画と静止画をバックアップしてカードを初期化する。	24 121
キャンバスが読み込めません	• キャンバスのデータが壊れている。 • 他機で保存したキャンバスのデータは読み込めない。	— —
記録できません	• ビデオスナップは、他機で記録したシーンから作れない。 • カードに異常があるため、記録できない。頻繁に発生する場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	— 244

メッセージ	どうするの？	📖
記録できません カードを確認してください	• カードに異常があるため、記録できない。 • カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。	— 24
このカードでは動画記録できないことがあります	• SDスピードクラスに対応していないカードまたはスピードクラス2のカードを入れた。SDスピードクラス4、6または10のカードを使用する。	19
このカードでは録画モード「長時間モード」を推奨します	• SDスピードクラス2のカードには、録画モードを「4Mbps」（長時間モード）以外にすると動画が正しく記録できないことがある。	—
このカードは動画記録できません このカードは動画再生できません	• 64 MB以下のカードは動画の記録・再生ができない。推奨のカードを入れる。	19
このカードは動画記録できません 本機で初期化してお使いください このカードは動画再生できません 本機で初期化してお使いください	• パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	24
このシーンは変換できません	• 他機で記録したシーンはMP4形式の動画に変換できない。	—
再生できない画像です	• 他機で記録したり、パソコンで作成や加工したりした静止画は再生できないことがある。	—

メッセージ	どうするの？	📖
再生できません	• 他機で記録したり、パソコンで作成や加工したりしたシーンは再生できないことがある。 • カードに異常があるため、再生できない。頻繁に発生する場合は、カメラ修理受付センターにご相談ください。	— 244
再生できません カードを確認してください	• カードに異常があるため、再生できない。 • カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。	— 24
シーン数がいっぱいです	• AVCHD形式の動画が記録可能なシーン数（3999シーン）に達した。不要なシーンを消す。	54
シーン番号を選択してください	• 動画管理情報が異なる同一日付が複数あった。日付変更線の付近で撮影すると、このようになることがある。いずれかを選択する。	—
消去ができないシーンがありました	• 他機でプロテクトや編集したシーンは消去できない。	—
処理中です 電源をはずさないでください	• カードに書き込んでいる。書き込みが終わるまで待つ。	—
静止画とMP4動画の総数が多すぎます USBケーブルをぬいてください	• 動画や静止画が多すぎる。USBケーブルを抜き、カードリーダーなどを使用してパソコンに移動する。または総数が以下になるように消す（Windows：2500未満。Mac：1000未満）。その後、USBケーブルを接続し直す。 • OSの設定によってはパソコンのモニターにメッセージが出ることがある。メッセージを閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	— —
テレビ方式が異なります 認識できません	• テレビ方式が異なる映像は本機で認識できない。	—

メッセージ	どうするの？	📖
データを修復できませんでした	• 壊れたデータを修復できない。動画と静止画をバックアップして、カードを初期化する。	24 121
動画／静止画データのバックアップは定期的に行ってください	• 万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータを定期的にバックアップする。	121
トリミングできません	• SDXCメモリーカードにコピーしたり、他機で記録やコピーしたりしたシーンはトリミングできない。	—
バックライトが低輝度に設定されています セットアップの「液晶バックライト」で変更できます	• 明るくするときは、ホーム画面のセットアップメニューから「液晶バックライト」を選び、「通常」または「高輝度」に設定する。	218
バッテリーパックを充電してください	• バッテリーが消耗している。バッテリーを充電する。	16
バッテリー通信エラー ご使用のバッテリーにCanonロゴはありますか？	• キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 • キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	232 244
ファイル名が作成できません	• フォルダー番号やファイル番号が最大になった。MP4形式の動画と静止画をバックアップしてから、「オートリセット」してカードを初期化するか、MP4形式の動画と静止画をすべて消す。	24 54 60 219
分割できません	• 本機の動画管理情報がいっぱいになったため、分割できない。不要な動画と静止画を消して、再度分割を行う。	58

メッセージ	どうするの？	📖
本機で記録したシーンではありません （再生できません） （分割できません）	• 他機で記録したシーンは再生、分割できない。	—
本機で初期化してお使いください	• カードに異常があるためアクセスできない。カードを本機で初期化する。	24
このシーンでの組み合わせでは結合変換できません	• 24Pと30Pのシーンを結合して動画のサイズを変換することはできない。	120

■ Wi-Fi 機能使用時

お使いのアクセスポイント（無線親機）の説明書も合わせてご覧ください。

メッセージ	どうするの？	📖
アクセスポイントが見つかりませんでした	• 本機に記憶されているアクセスポイントが見つからなかった。	—
	• コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。	203
	• アクセスポイントのSSID を確認して、同じSSID を本機に設定する。	163
	• MACアドレスでフィルタリングしているときは、同じMACアドレスをアクセスポイントに登録する。	160
アクセスポイントがUPnPに対応していません	• 接続したWi-Fi環境内に、UPnP（Universal Plug and Play）対応のルーターが見つからなかった。UPnP対応のルーターを使用する。UPnP対応のルーターの場合は機能を有効にする。	—

メッセージ	どうするの？	📖
カードカバーがあいています	• カードにアクセス中にカードカバーが開けられた。Wi-Fi機能を中止し、Wi-Fi接続を切断する。	—
グローバルIPアドレスが取得できませんでした。	• 本機が接続しているインターネット接続環境にグローバルIPアドレスが割り当てられていない。ブロードバンドルーターのWAN側にグローバルIPアドレスが割り当てられているか確認する。 • 家庭内ネットワークに複数のルーターが接続されている。ルーターを1つにする。	—
サーバーに接続できませんでした	• 宅外モードで使用する外部サーバーにアクセスできなかった。本機を接続したアクセスポイントを、インターネットに接続する。本機の「日付/時刻」を正しく設定する。	218
接続できませんでした	• コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。	203
設定情報にアクセスできませんでした	• 本機の電源を入れ直す。それでも解決しない場合は、お客様相談センターにご相談ください。	—
複数のアクセスポイントが検出されました もう一度操作してください	• 他のWi-Fi機器がWPS のプッシュボタン方式で接続を行っている。しばらくしてから操作するか、「WPS：PINコード」または「アクセスポイント検索」で接続する。	160
ポート番号が不正です 設定し直してください	• 指定されたポート番号では設定できなかった。宅外モード設定で、他の機器と重ならないポート番号に変更する。	137

メッセージ	どうするの？	📖
無線機能が正しく動作していません	• コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。 • 本機とアクセスポイントの電源を入れ直して、再度、Wi-Fi 設定を行う。それでも解決しない場合は、お客様相談センターにご相談ください。	203 160
ワイヤレスマイクロホン接続中はWi-Fiを使用できません	• ワイヤレスマイクロホンWM-V1（別売）とWi-Fi機能は同時に使用できない。MIC端子からマイクを抜く。	—
IP アドレスが重複しています	• 同じネットワークに接続している機器とIP アドレスが重複しないよう、本機または他の機器のIP アドレスを変更する。	165
IP アドレスを取得できませんでした	• DHCP サーバーを使用していないときは、Wi-Fi接続を「手動設定」で行い、IPアドレスを「マニュアル」で設定する。 • DHCP サーバーについて確認する。 ・ 電源が入っていて正常に動作しているか。 ・ 割り当てられるアドレスに余裕はあるか。 • DNS サーバーを使用していないときは、DNS アドレスを「0.0.0.0」に設定する。 • 使用するDNS サーバーと同じIP アドレスを本機に設定する。 • DNS サーバーについて確認する。 ・ 電源が入っていて正常に動作しているか。 ・ IP アドレスと、そのアドレスに対応する名前が正しく設定されているか。 • ゲートウェイ機能を持つアクセスポイントを使用しているときは、本機を含むすべてのネットワーク機器に、正しいゲートウェイアドレスを設定する。	165 — 165 165 — 168

メッセージ	どうするの？	📖
Wi-Fi の暗号化キーが違います	• アルファベットの大文字／小文字を確認して、正しい暗号化キー（パスワード）を入力する。	165
Wi-Fi の暗号方式が違います	• 本機とアクセスポイントは同じ認証／暗号化方式で設定する。 • MAC アドレスでフィルタリングしているときは、同じMAC アドレスをアクセスポイントに登録する。	165 160
Wi-Fiの接続が切れました	• コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。 • Wi-Fi 機器にほかからのアクセスが集中している場合など、接続できない状態になっている。しばらくしてから接続する。	203 —
Wi-Fi の認証ができませんでした	• 本機とアクセスポイントは同じ認証／暗号化方式、暗号化キー（パスワード）で設定する。 • MAC アドレスでフィルタリングしているときは、同じMAC アドレスをアクセスポイントに登録する。	165 160
Wi-Fi の認証方式が違います	• 本機とアクセスポイントの設定を確認する。 • 本機とアクセスポイントは同じ認証／暗号化方式、暗号化キー（パスワード）で設定する。 • MAC アドレスでフィルタリングしているときは、同じMAC アドレスをアクセスポイントに登録する。	168 167 160
WPS で接続できませんでした	• 本機と無線親機（アクセスポイント）の電源を入れ直して、設定し直す。それでも解決しないときは、「アクセスポイント検索」で接続する。	163

メッセージ	どうするの？	📖
WPS で接続できませんでした もう一度操作してください	• 無線親機（アクセスポイント）の説明書で指示されている時間、WPS ボタンを押し続ける。 • 無線親機（アクセスポイント）のWPS ボタンを長押ししてから2分以内に本機の「OK」をタッチする。 • 無線親機（アクセスポイント）の設定画面でPIN コードを入力してから2分以内に本機の「OK」をタッチする。	— — —
[Wi-Fi機器の画面] Another user is already controlling the camcorder. Try again later. [Retry]	• 複数のWi-Fi機器が本機に接続しようとした。本機に接続するWi-Fi機器を1台だけにして、「Retry」をタッチする。	—

■ Wi-Fi機能のWebサービス使用時

メッセージ	どうするの？	📖
サーバーが混雑しています しばらくしてから実行してください。	• CANON iMAGE GATEWAYサーバーに接続が集中して、繋がりにくくなっている。本機のWi-Fi接続を切り、しばらくしてから接続する。	—
サーバーに接続できませんでした	• CANON iMAGE GATEWAYサーバーに接続できなかった。本機を接続したアクセスポイントを、インターネットに接続する。	—
サーバーの空き容量が不足しています	• CANON iMAGE GATEWAYサーバーに保存可能なデータ容量を超えた。不要なデータを消去して、あらためて保存する。	—
送信できない画像です	• Webサービスに対応していない形式や容量の映像を送信しようとした。映像の状態を確認してから送信する。	—

メッセージ	どうするの？	📖
送信できる動画は○分*までです。	• 送信する動画の時間（長さ）が、利用するWebサービスの規定を超えた。動画の時間を短くして送信し直す。 * 送信できる動画の時間（長さ）は、Webサービスによって異なります。	—
もう一度実行して下さい	• CANON iMAGE GATEWAYサーバーが一時的に停止しているか、またはサーバーとの情報交換で不具合が生じた。あらためて接続実行する。再度同じエラーが出る場合には、しばらくしてから接続実行する。	—
ネットワーク設定を確認してください	• CANON iMAGE GATEWAYサーバーの認証に失敗した。本機の「日付/時刻」を正しく設定する。	—
カメラ連携設定がされていません	• CANON iMAGE GATEWAYサーバーとの情報交換で不具合が生じた。CANON iMAGE GATEWAYで設定した情報を確認して、連携設定をやり直す。	148
Webサービスの設定が変更されています	• CANON iMAGE GATEWAYで設定したWebサービスの設定が変更されている。CANON iMAGE GATEWAYで設定した情報を確認して、連携設定をやり直す。	—

安全上のご注意

お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

こんなときは

- 煙が出ている
- へんなにおいがする
- 落としてこわした
- 内部に水や異物が入った

▶ **バッテリーをはずして、コンパクトパワーアダプター CA-110はコンセントから抜く**

そのまま使用すると火災や感電の原因になりますので、カメラ修理受付センター（📖244）に問い合わせるか、購入販売店に修理を依頼してください。

⚠警告 死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

禁止

内部に異物を入れたり、端子部に金属類をショートさせない。
➤ 火災 感電 けが

雷が鳴っているときには電源プラグに触れない。➤ 感電

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
➤ 感電

ぬらさない。➤ 火災 感電 やけど
降雨降雪時、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は特に気をつける。

禁止

液漏れしたバッテリーは使用しない。

➤ 皮膚の傷害 失明 発火

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐに医師に相談。

分解や改造をしない。

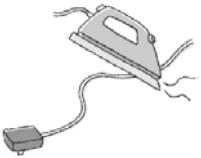
➤ 発熱 感電 火災 けが

強い衝撃や振動を与えない。

➤ 火災 やけど けが

液晶画面やレンズは割れるとけがの原因。

電源コードについて次のことを守る。



➤ 火災 感電

- 傷つけない
- 加工しない
- 無理に曲げない
- 引っ張らない
- 熱器具に近付けない
- 加熱しない
- 重いものを載せない

禁止

バッテリーを熱しない、火中投入しない。
➤ やけど けが

バッテリー端子部に金属のキーホルダーやヘアピンなどを接触させない。➤ やけど けが
ショートして、高熱や液漏れのおそれあり。

充電中は長時間にわたる接触をしない。➤ 低温やけど

海外旅行者用の電子式変圧器や、航空機・船舶・DC / ACコンバーターなどの電源につながない。表示された電源電圧や周波数以外では使用しない。
➤ 火災 感電 けが

禁止

壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しない。

➤ 火災 感電 けが

油煙・ほこり・砂などの多い場所や、風呂場など湿度の高い場所で使用・保管しない。

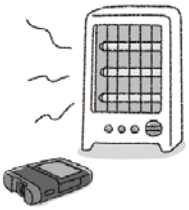
➤ 火災 感電 やけど

内部にほこりや水などが入るおそれあり。

直射日光下、ストーブ・照明器具のそばなど60 ℃以上になる高温の場所や、炎天下の密閉された車中に置かない。

➤ 火災 やけど けが

発熱や破裂のおそれあり。

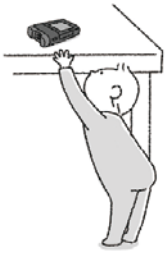


運転中に使用しない。➤ 交通事故

不安定な場所に置かない。

➤ けが

落下、転倒のおそれあり。



乳幼児の手の届くところに置かない。

➤ 感電 失明 けが

ふとんやクッションなどをかけたまま使用しない。

➤ 火災

内部に熱がこもるおそれあり。

禁止

病院などの医療機関内、および医療用電気機器の近くで使用しない。➤ 事故

電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれあり。

航空機内で使用しない。➤ 事故

電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれあり。

長時間、身体の同じ箇所に触れたまま使用しない。

➤ 低温やけど

熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするおそれあり。気温の高い場所で使用する場合や、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使用する場合は、三脚などを使う。

強制

指定された機器を使う。➤ 火災 感電 けが

電源プラグやコンセントの
ほこりを、定期的に乾いた
布で拭き取る。➤ 火災

電源プラグは根元まで確実に差し込む。
➤ 火災 感電

コンセントから抜くときは、電源プラ
グを持って抜く。
➤ 火災 感電

使用しないときは、必ず電源プラグ
をコンセントから抜く。
➤ 火災

撮影しているときは、周囲の状況に注意する。
➤ けが 交通事故

⚠注意 傷害、物的損害を負うおそれがある内容です。

禁止

使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は使用しない。
➤ 事故
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となることがある。

コード類は、つまずかないように配置する。➤ けが
足を引っ掛けて転倒したり、製品が落下するおそれあり。

バッテリー、リストストラップなどは脱落しないように確実に取り付ける。➤ けが

強制

バッテリーを取り外すときは、落とさないように気をつける。
➤ けが

心臓ペースメーカーを装着している場合は、装着部位より22cm程度以上離して使用する。
電波により機器類の動作に影響をあたえるおそれあり。

注意

なるべくビデオカメラを固定して撮影する。
撮影時に不用意にビデオカメラを揺らすと、再生時に乗り物酔いのような症状を起こすおそれあり。その場合はすぐに再生を中止し、休息を取って目を休める。

取り扱い上のご注意

ここでは本機やバッテリーとカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことを説明しています。

■ ビデオカメラ本体

データはバックアップする

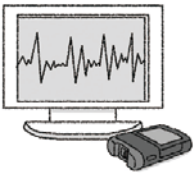
故障などに備えて、撮影した動画や静止画はパソコンなどにバックアップしてください。データ消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

テレビの上などで使わない

プラズマテレビの近くなど、電磁波の出る場所で使うと映像や音声が乱れることがあります。



強い光源にレンズを向けない

レンズを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。

液晶画面を...

つかんでもちあげない

➔ 液晶画面の接合部が破損することがあります。

無理に閉じない

➔ 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

ボールペンなどのとがったものでタッチしない

➔ タッチパネルが破損することがあります。

強くタッチしない

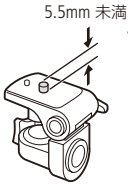
➔ タッチパネルの表示がムラになったり、液晶画面の接合部が破損することがあります。

金属類に接触させない

➔ 液晶画面に触れて誤動作することがあります。

ネジの長い三脚は使わない

取り付けネジの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。



Wi-Fi機能について

使用可能な地域について

- 本製品のWi-Fi機能は国内でのみご使用いただけます。国外ではご使用になれません。

電波に関するご注意

- 本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。

- 本製品のうち、外国為替、および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

電波干渉に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。

② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談下さい。

③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談窓口へお問い合わせ下さい。

この表示は、2.4GHz帯を使用している無線機器であることを意味します。

本製品は、他の電波を発する機器（コードレス電話、電子レンジ、Bluetooth機器など）から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして電波干渉を避けて使用してください。

次の事項を行うと、法律で罰せられます。

本製品を分解、改造すること。本製品上の証明ラベルをはがすこと。

医療用の装置や、電子機器の近くで本製品を使用しないで下さい。医療用の装置や、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

■ バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子やバッテリーチャージャーの間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

POINT

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10 ℃～30 ℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30 ℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを充電してください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

■ カード

データはバックアップする

静電気、カードの故障などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまるおそれがあります。

ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

カードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度カードの完全初期化（📖24）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度完全初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

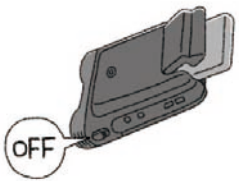
■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた

① 電源を切る。

② 本機に充電したバッテリーを入れるかコンパクトパワーアダプター（ACアダプター）につなぐ。



- 約24時間後、内蔵リチウム電池が充電される。

■ その他のご注意

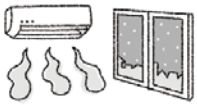
結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態で使うと故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。



温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、カードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

付属の電源コードは本製品のみに使用する

本機に付属の電源コードは、本製品専用です。他の機器に使用することはできません。

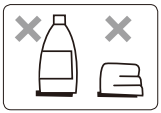
Li-ion

- ○ 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。
  ホームページ　http://www.jbrc.com
- ○ プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- ○ 被覆をはがさないでください。
- ○ 分解しないでください。

日常のお手入れ

本体がよごれたときは

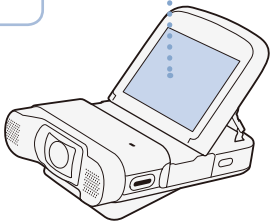
柔らかい布で拭こう

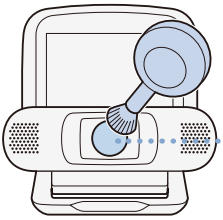


- 乾いた布で軽く拭いてください。
- 化学ぞうきんやシンナーは表面を傷めますので使わないでください。

液晶画面

市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。水滴が付着しているときは柔らかい布で拭き取ります。





レンズ

ブロアでゴミやホコリを取ったら、市販の眼鏡クリーナー（布製）で拭きます。

海外で使う

海外で使用するときの便利機能やマメ知識です。

■ 充電する

海外でも付属のコンパクトパワーアダプター(AC100～240 V 50/60 Hzまでの電源に対応)を使ってそのまま充電できます。コンセントの形が異なる国では、変換プラグを使用してください。

コンパクトパワーアダプター(ACアダプター)を変圧器に接続しないでください。故障するおそれがあります。

■ テレビで見る

本機で記録した動画はNTSC方式(アナログ)または60Hz(デジタル)のテレビ放送を採用している地域のテレビで再生できます。以下の国や地域ではNTSC方式を採用しているため、本機をテレビに接続するとそのまま映像を見ることができます。

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- 大韓民国
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- ジャマイカ
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバゴ
- トンガ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- ボリビア
- ミャンマー
- メキシコ

(NTSC方式を採用している国や地域 －NHK放送文化研究所発行「世界の放送2007」による－)

■ 旅行先の日時に合わせる

2つの地域の日時を登録できるため、海外旅行先の日時を設定しておくと、撮影した映像を現地時間で記録できます。

1. ⌂をタッチする。
2. 🔧（セットアップ）を中央に表示してタッチする。
3. ↩→「エリア/サマータイム」をタッチする。
4. ✈をタッチする。
5. ▲/▼ をタッチして、旅行先を選ぶ。

   旅行先がサマータイムのとき

   ☀をタッチする。
6. ⮌ →「日付/時刻」をタッチする。
7. ▲/▼をタッチして日時を設定する。
8. OK →✕をタッチする。

旅行から帰ってきたら

1. 上記の操作4で、⌂をタッチする。
2. ✕ をタッチする。

メニューの紹介

撮影／再生によってそれぞれ設定できる機能が異なります。ご購入時は、……の内容に設定されています。各機能の詳細は、🕮欄のページか欄外に説明があります。

■ ホーム画面

設定のしかたについては「ホーム画面で操作する」(🕮29)をご覧ください。

機能	設定内容	🕮
セットアップ	—	212
オーディオシーン	スタンダード、音楽、フェスティバル、スピーチ、ミーティング、森と野鳥、ノイズカット、カスタム	88
特殊記録	通常記録、インターバル記録、スロー記録、倍速記録、ビデオスナップ、プレREC	70~77 214
撮影モード	マクロ、オート、グルメ・ファッション、スポーツ、夜景、ビーチ、スノー、車内、Pプログラム AE	67
画像の反転/回転	ミラーイメージ記録：入、切 ポジション検出：入、切	84
セルフタイマー	2sec 2秒、10sec 10秒、OFF 切	78
ライブストリーミングリモコン	宅内モード、宅外モード、設定確認／変更	133
静止画再生	—	51
AVCHD 動画再生	—	45
MP4 動画再生	—	45
ビデオスナップ	—	45

機能	設定内容	📖
Wi-Fi	Movie Uploader、リモートブラウズ、Webサービスに接続、メディアサーバー、設定確認/変更	130

■ セットアップメニュー

設定のしかたについては「セットアップメニューの設定を変える」(📖32)をご覧ください。

カメラ設定*

機能	設定内容	📖
動画形式	AVCHD AVCHD、MP4 MP4	26
録画モード	AVCHD動画形式のとき：24 Mbps、17 Mbps MP4動画形式のとき：24 Mbps、17 Mbps、4 Mbps	64
フレームレート	30P 30P、24P 24P	—
フェイスキャッチ&追尾	ON 入、OFF 切	110
自動逆光補正	ON 入、OFF 切	—
オートスローシャッター	ON 入、OFF 切	—
フリッカー低減	OFF 切、50Hz 50 Hz、60Hz 60 Hz	—
手ブレ補正	ON 入、OFF 切	—
ビデオスナップ記録時間	2sec 2秒 、4sec 4秒、8sec 8秒	76 112
静止画サイズ	L 4000×3000、M 1920×1440、S 640×480	66
静止画確認時間	OFF 切、2sec 2秒、4sec 4秒、6sec 6秒、8sec 8秒、10sec 10秒	—
マーカー表示	OFF 切、水平 (白)、水平 (グレー)、グリッド (白)、グリッド (グレー)	—

* 撮るモードのときのみ設定できます。

フレームレート

MP4動画形式のとき、1秒間に記録されるこまの数（フレームレート）を選びます。フレームレートによって記録される動画のなめらかさが変わります。AVCHD動画形式の時は自動的に60iに設定されます。

30P	映像を30コマ／秒で撮影して記録する。
24P	映像を24コマ／秒で撮影して記録する。

- 撮影モードがAUTOのときは設定できません。

自動逆光補正

逆光下で撮影する場合、自動的に補正して被写体を明るく撮影できます。

- 撮影モードが夜景、ビーチ、スノー、車内のときは使用できません。

オートスローシャッター

AVCHD動画形式で、明るさが不足する場所（暗めの室内など）で撮影する場合、シャッタースピードを自動的に遅くして、より明るい映像を記録します。

- 撮影モードがAUTO（オート）、**P**（プログラムAE）のときに設定できます。
- 動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選びます。

フリッカー低減

蛍光灯の下で撮影するときに、ちらついて見えることがあります。その場合は「50Hz」または「60Hz」に設定することでちらつきを低減することができます。

- 撮影モードが**P**（プログラムAE）のときに設定できます。
- 特殊記録で「スロー記録」または「倍速記録」を設定しているときは使用できません。
- 暗いところで撮影しているときにフリッカー低減の設定をすると、実際に記録される映像が暗くなることがあります。

手ブレ補正

手ブレ補正を「入」にした場合、手ブレを補正して動画を撮影します。

- 以下のときは手ブレ補正を設定できません。
  - 特殊記録の「スロー記録」または「倍速記録」設定時。
  - アップ／ワイド（37）の（ワイド）時。
  - 静止画撮影モード時。
  - ライブストリーミングリモコン設定時。
- AVCHD動画形式のときは、手ブレ補正を「入」にすると、映像が拡大されます。
- 暗いところで撮影しているときに手ブレ補正の設定をすると、実際に記録される映像が暗くなることがあります。

静止画確認時間

静止画を記録直後に確認する時間を変更します。

マーカー表示

画面に水平線や格子状の線（グリッド）を表示します。被写体の水平・垂直を確認しながら撮影できます。

- 水平線やグリッドは、撮影した動画や静止画には表示されません。

再生設定

機能	設定内容	
ビデオスナップ記録時間	2sec 2秒、4sec 4秒、8sec 8秒	76 112
スライドショーエフェクト	OFF 切、クロスフェード、スライド	—
縦横自動回転	ON 入、OFF 切	—
日時表示	ON 入、OFF 切	—

スライドショーエフェクト

静止画が自然に切り換わる「クロスフェード」や横にスライドする「スライド」の効果をつけて静止画を再生できます。

縦横自動回転

ポジション検出を「入」にした場合、本機を縦にして静止画を撮影しても、再生時に自動的に回転して正しく表示します。

日時表示

再生中の日時の表示を入／切します。

- MP4形式の動画を再生中は日付のみ表示できます。

オーディオ設定

機能	設定内容	📖
内蔵マイクウィンドカット	Hオートハイ、Lオートロー LOW、OFF 切 OFF	93
内蔵マイクアッテネーター	A オート、ON 入、OFF 切	94
内蔵マイク周波数特性	NORM ノーマル、LB 低域強調、LC 低域カット、MB 中域強調、LHB 低高域強調	95
内蔵マイク指向性	2ch MONO モノラル、NORM ノーマル、2ch WIDE ワイド	96
MICアッテネーター	A オート、ON 入、OFF 切	97
MICローカット	ON 入、OFF 切	98
MIC端子入力選択	LINE 外部音源、MIC マイク	99
音声ミックス	ON 入、OFF 切	100
音声リミッター	ON 入、OFF 切	101
音声コンプレッサー	Hハイ、Lロー、OFF 切	102
ヘッドホン音量	、OFF 0 ～ 15(8)	103
スピーカー音量	、0 ～ 15(8)	48
おしらせ音	大、小、OFF 切	—

おしらせ音

電源を入れたり、動画や静止画を記録したり、セルフタイマーを使うときなどに音が鳴ります。

- 音を鳴らしたくないときは「切」を選びます。

システム設定

機能	設定内容	📖
言語	日本語、ENGLISH	—
エリア/サマータイム	エリア：🏠(自宅)、✈(旅行先)、 ☀サマータイム：入／切	—
日付/時刻	日付/時刻：— 日時スタイル：Y.M.D、M.D.Y、D.M.Y 24H表示：ON、OFF	—
液晶明るさ調整	☀ ▬▬ ☀	—
液晶バックライト	**H** 高輝度、**M** 通常、**L** 低輝度	—
メモリー残量表示	—	—
メモリー使用量表示	—	—
ファイル番号	オートリセット、通し番号	—
オートパワーオフ	ON 入、OFF 切	—
HDMI出力状態	—	—
オンスクリーン表示	ON 入、OFF 切	—
初期化 SD	初期化、完全初期化	24
Firmware	—	—
認証マーク表示	—	—
デモモード	ON 入、OFF 切	—
設定初期化	—	—

言語

画面に表示される言語を変えます。

エリア/サマータイム

住んでいる地域と旅先の地域をそれぞれ設定できます。

- 🏠または✈を選んだあと、▲または▼をタッチして地域を選びます。
- 選んだ地域がサマータイムを導入しているときは☀(サマータイム)をタッチします。

日付/時刻

日時を合わせたり、年月日の順番を変更したりできます。

液晶明るさ調整

液晶画面の明るさを調整します。

- ✺または✹をタッチして、調整します。
- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。

液晶バックライト

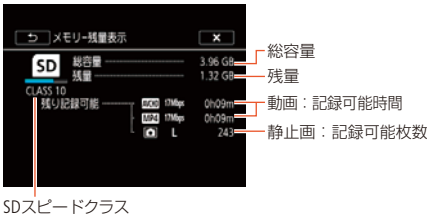
画面の明るさを3段階に切り換えます。暗所での撮影など、周囲に配慮したいときなどに使います。

- 記録される映像や、テレビで再生する映像の明るさは変わりません。
- 画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。
- 「低輝度」に設定しているときは、電源/充電ランプは常に緑色に点灯します。

メモリー残量表示

撮るモードのときにカードの総容量や残量、動画の記録可能時間*、静止画の記録可能枚数*を確認できます。

* 現在設定している動画の録画モードや静止画のサイズをもとに算出します。



メモリー使用量表示

見るモードのときにカードの総容量や使用量、動画の記録済み時間、静止画の記録済み枚数などを確認できます。

ファイル番号

個々のMP4形式の動画／静止画に付けられるファイル番号の付けかたを選びます。自動的に100-0001、100-0002、100-0003のように順に番号が付けられ、カード内のフォルダーに保存されます。

オートリセット	初期化されたカードに記録する場合、ファイル番号は常に100-0001から始まる。すでにMP4形式の動画や静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。
通し番号	ファイル番号は、最後に記録したMP4形式の動画や静止画の続き番号から始まる。ただし、カードに記録されているファイル番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。

- 通常は「通し番号」に設定しておくことをおすすめします。

- 1つのフォルダーにはMP4形式の動画と静止画を合わせて500ファイルまで保存することができます。
- ファイル番号は、カード内に作られるフォルダーの番号（上3桁）とMP4形式の動画や静止画固有の番号（下4桁）を表しています*。
  * ファイル番号の範囲は、上3桁が100～999、下4桁が0001～9900です。
- 自動的に日付がフォルダー名として付けられます。5月1日に記録したカードをパソコンで見ると、ファイル番号が「101-0107」の場合、「DCIM」→「101_0501」というフォルダーの中に「MVI_0107.MP4」または「IMG_0107.JPG」というファイル名で表示されます。
- インターバル記録したシーンが保存されるフォルダーは「DCIM」→「101I0501」のように「_」の代わりに「I」が表示されます。

オートパワーオフ

バッテリー使用時、約3分間何も操作しないと、節電のために電源が切れます。

- 電源が切れる約30秒前に、「❶オートパワーオフ」が表示されます。表示中に何らかの操作をすると解除されます。

HDMI 出力状態

現在のHDMI出力端子の出力状態を確認できます。

オンスクリーン表示

見るモードのとき、画面に表示される情報を本機に接続したテレビの画面に表示します。

Firmware

見るモードのときに、ビデオカメラの現在のバージョンを確認できます。

- Firmware（ファームウェア）とは、機器を制御するために組み込まれたソフトウェアのことです。ビデオカメラでは、このFirmwareによって、撮影や画像処理などの動作が行われます。
- 通常は灰色で表示されます。

認証マーク表示

本機が対応している認証マークの一部を確認できます。

デモモード

機能紹介（デモモード）の映像を画面に表示します。

- 撮影停止中、コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつないで、カードが入っていない状態で約5分経過するとデモモードとなり、機能紹介が始まります。デモモードにしない場合は、「切」に設定します。
- 何らかの操作をするとデモモードは終了します。

設定初期化

すべての設定を解除して、ご購入時の設定に戻します。

- 日時やWi-Fiの設定などすべての設定が初期化されます。

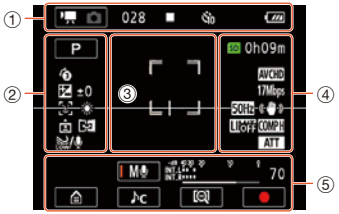
画面の見かた

撮影中や再生中に表示される情報です。撮影モードによって表示される内容が異なります。

■ 撮影のときの画面（動画）

動画のとき

AVCHD動画形式のとき



MP4動画形式のとき

① 画面上部

	動画撮影モード	38
0:00:00:00 （AVCHD動画形式のとき）	タイムコード 時：分：秒：フレーム数 • タイムコードは撮影時に歩進します。撮影毎に00:00:00:00からスタートします。	—
0:00:00 （MP4動画形式のとき）	撮影時間 時：分：秒	

① 画面上部

000	撮影シーン数（AVCHD動画形式のみ）	—
● ／ ■	撮影状況　●：撮影中　■：撮影停止中	—
／	セルフタイマー	78
／ ／ ／ ／ ／	バッテリー残量の目安　バッテリーの残量の目安をマークで表示します。または が赤く表示されたときは、バッテリーが消耗していますので充電したバッテリーと交換してください。本機やバッテリーの状態によっては、実際のバッテリー残量と表示内容が一致しない場合があります。	—

② 画面左

／ AUTO ／ ／ ／ ／ ／ ／ ／ P	撮影モード	67 211
／ ／ ／ ／ ／	特殊記録 ・「インターバル記録」、「スロー記録」、「倍速記録」時は、「記録間隔設定」や「速度設定」で設定した記録間隔や速度が表示されます。	70 74 76 77 211
±0	露出	107
	フェイスキャッチ&追尾	110
AWB ／ ／ ／	ホワイトバランス	105
／ ／	ポジション検出	84
	ミラーイメージ記録	84
Low ／ OFF	内蔵マイクウィンドカット	93

③ 画面中央

	顔検出枠	110
	マーカー表示	214

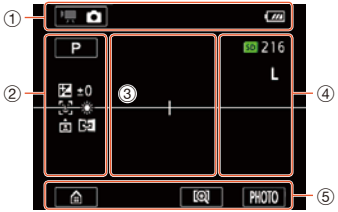
④ 画面右

SD 0h00m	撮影可能時間　カードに空きがなくなると「SD END」が赤く点灯し、停止します。	—
LPCM	リニアPCM記録 • AVCHD形式動画の「録画モード」で「24 Mbps」を選択したときに表示されます。	64
AVCHD ／ MP4	動画形式	26
30P ／ 24P	フレームレート（MP4動画形式のみ）	213
24 Mbps ／ 17 Mbps ／ 4 Mbps	録画モード	64
50Hz ／ 60Hz	フリッカー低減	213
	手ブレ補正	214
LIMIT OFF	音声リミッター	101
COMP H ／ COMP OFF	音声コンプレッサー	102
ATT ／ A OFF	内蔵マイクアッテネーター	94

⑤ 画面下部

	ホーム	211
STD ／ ／ ／

静止画のとき



① 画面上部

	静止画撮影モード	41
／／／／	バッテリー残量の目安	223

② 画面左

／AUTO／／／／／／／／P	撮影モード	67
±0	露出	107
	フェイスキャッチ&追尾	110
AWB／／／／	ホワイトバランス	105
／／	ポジション検出	84
	ミラーイメージ記録	84

③ 画面中央

	マーカー表示	214

④ 画面右

SD 000	静止画の記録可能枚数　記録可能枚数が9999枚を超える場合は「9999」と表示されます。	214
L ／ **M** ／ **S**	静止画サイズ	66

⑤ 画面下部

⌂	ホーム	211
🔍＋ ／ 🔍−	アップ／ワイド	37
PHOTO	PHOTO	—

■ 再生のときの画面

動画のとき（操作ボタン表示時）

AVCHD動画形式のとき

MP4動画形式のとき

① 画面上部

	ミラーイメージ再生	49
	リピート再生	
／	インターバル記録 スロー記録／倍速記録	70 74 223
編集	編集メニュー	—
▶ ／ ❚❚ ／ ◀❙／❙▶ ／ ▶▶ ／ ◀◀ ／ ◀❚❚／❚❚▶	再生状況　▶：再生　❚❚：再生一時停止 ◀❙／❙▶：逆スロー再生／スロー再生 ▶▶：早送り　◀◀：早戻し ◀❚❚／❚❚▶：コマ戻し／コマ送り	—
LPCM	リニアPCM記録 • AVCHD形式動画の「録画モード」で「24 Mbps」を選択して記録したときに表示されます。	64 86

① 画面上部

AVCHD ／ MP4	動画形式	26
24 Mbps ／ 17 Mbps ／ 4 Mbps	録画モード	64
SD 0:00:00:00 (AVCHD動画形式のとき) SD 0:00:00 (MP4動画形式のとき)	タイムコード　時：分：秒：フレーム数 撮影時間　時：分：秒	—
000	再生シーン番号	—
000-0000	ファイル番号（MP4動画形式のみ）	219

② 画面下部

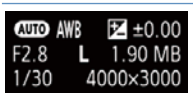
⏮ ／ ⏸ ／ ■ ／ ◀◀ ／ ▶▶⏭ ／ ▶▶ ／ ▶ ／ ◀❙ ／ ❙▶	操作ボタン　⏮：前へスキップ ⏸：再生一時停止　■：再生停止 ◀◀：早戻し　▶▶⏭：次へスキップ ▶▶：早送り　▶：再生　◀❙：逆スロー再生 ❙▶：スロー再生	47 214
🎧/🔊	音量調節	48
PHOTO	あとからフォト	113
	タッチデコレーション	80
AM 10:00 2014. 2.10	日時表示	215
	ビデオスナップ	76

静止画のとき（操作ボタン表示時）

① 画面上部

編集	編集メニュー	—
SD 00/00	表示枚数／全枚数	—
000-0000	ファイル番号	219

② 画面中部

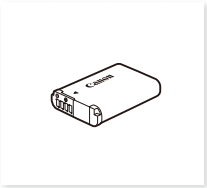
	静止画情報 AUTO：撮影モード　AWB：ホワイトバランス、 ±0.00：露出　F2.8：絞り値 1/30：シャッタースピード L 4000×3000：静止画サイズ 1.90MB：静止画容量	—

③ 画面下部

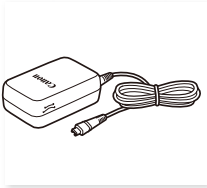
▶ ／ ／ ／	操作ボタン　▶：スライドショー ：インデックス画面　：ジャンプ ：ワイド	52
AM 10:00 2014. 10. 1	日時表示	215

アクセサリー紹介

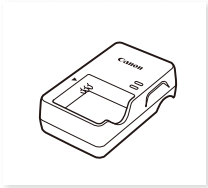
本機の付属品または別売品について紹介しています。



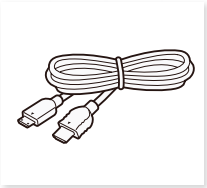
バッテリーパック
NB-12L



コンパクトパワーアダプター
（ACアダプター）CA-110

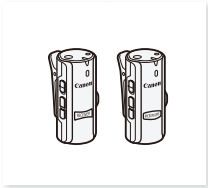


バッテリーチャージャー
CB-2LG

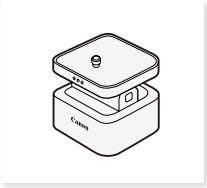


ハイスピードHDMIケーブル
HTC-100

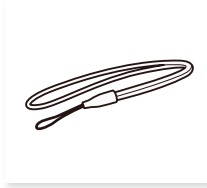
インターフェースケーブル
IFC-400PCU
（USBケーブル）



ワイヤレスマイクロホン
WM-V1



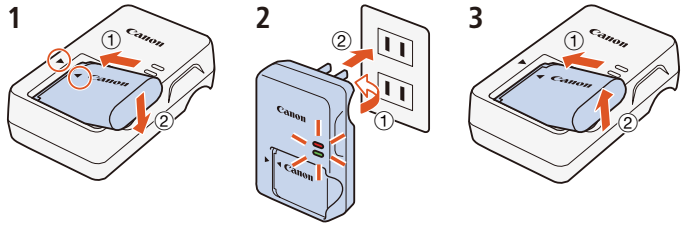
カメラパンテーブル
CT-V1



リストストラップ
WS-DC11

■ 別売のバッテリーチャージャーを使って充電する

別売のバッテリーチャージャーCB-2LGでバッテリーを充電するとき。



1. ▲を合わせて①の方向へ押しながら、②の方向へ取り付ける。
2. プラグをおこして、コンセントに差す。
   - 充電がはじまり、ランプがオレンジ色に点灯する。充電が完了すると、ランプが緑色に点灯する。
3. コンセントから抜いて、バッテリーを取り外す。
   - ①の方向へ押しながら、②の方向へ取り外す。

MEMO

- 充電時間については236ページをご覧ください。

ご注意

- **アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。**
  このカメラでキヤノン純正以外のバッテリーをお使いになると、「バッテリー通信エラー」のメッセージが表示され、所定の操作が必要となります。なお、純正以外のバッテリーに起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。

このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

主な仕様

iVIS miniシステム

カード記録	動画： ① AVCHD規格Ver. 2.0準拠 映像：MPEG - 4 AVC/H.264 音声：リニアPCM 2ch* / Dolby Digital 2ch ② MP4準拠 映像：MPEG-4 AVC/H.264 音声：MPEG-4 AAC-LC（2ch） *セットアップメニューの「録画モード」で「24 Mbps」を設定しているとき 静止画： DCF準拠、Exif Ver2.3準拠 画像タイプ：JPEG
信号方式	AVCHD、MP4
記録メディア	SD / SDHC / SDXCメモリーカード
録画時間の目安	16 GBメモリーカード 24Mbps、17Mbps、4Mbps：1時間25分、2時間5分、8時間40分 32 GBメモリーカード 24Mbps、17Mbps、4Mbps：2時間55分、4時間10分、17時間20分
撮像素子	1/2.3型CMOS、総画素数：約1280万画素 有効画素 ワイド時　動画： AVCHD 約829万画素　MP4 約899万画素、静止画：約1200万画素 アップ時　動画： AVCHD（手ブレ補正ON時）約133万画素、（手ブレ補正OFF時）約207万画素、 MP4 約207万画素、静止画：約276万画素
液晶画面	2.7型TFTカラー液晶（約23万ドット）、タッチパネル静電容量式、視野率100%
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=2.7mm　F 2.8 35 mmフィルム換算時の焦点距離 ワイド時　動画： AVCHD 約17.5mm、MP4 約16.8mm、静止画：約15.4mm アップ時　動画： AVCHD（手ブレ補正ON時）約43.7mm、（手ブレ補正OFF時）約35.0mm、 MP4 約35.0mm、静止画：約32.1mm

MENU アイウ

レンズ構成	5群6枚（非球面1枚2面使用）
焦点調整	パンフォーカス
撮影距離	0.4m ～∞
ホワイトバランス	オート（AWB）、プリセット（太陽光、電球）、セット（白取り込み）
最低被写体照度	10ルクス （P(プログラムAE)モード、シャッタースピード1/30秒時）
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ブレ補正機能	電子式
動画サイズ	24Mbps/17Mbps：1920×1080 4Mbps：1280×720 3Mbps：640×360(1/4倍スロー記録時)
静止画サイズ	L： 4000×3000 M：1920×1440 S： 640×480 あとからフォト：1920×1080

入・出力端子

USB端子	miniB、Hi-Speed USB対応（出力のみ）
HDMI出力端子	HDMIミニコネクター、出力のみ
MIC端子	Φ3.5mmステレオミニジャック、-64 dBV(600Ω マイク使用時／5kΩ 以上)
ヘッドホン端子	Φ35mmステレオミニジャック

Wi-Fi仕様

規格	IEEE802.11b/g/n準拠 Wi-Fi Protected Setup（プッシュボタン方式、PINコード方式）
周波数	2.4 GHz帯
チャンネル	1 ～ 13 Ch
暗号化方式	WEP-64/WEP-128、TKIP/AES

電源その他

電源電圧	DC3.6 V（バッテリーパック）、DC5.3 V（DC IN）
消費電力 （17Mbpsモード）	AVCHD 約2.5W（明るさ標準） MP4 約2.3W（明るさ標準）
動作温度	約0 ℃～＋40 ℃
外形寸法 （幅×高さ×奥行き）	約82×30×109 mm（リストストラップを含まず）
撮影時総質量	約240 g（バッテリーパックNB-12L、SDメモリーカード含む）
本体質量	約205 g（リストストラップを含まず）

バッテリーパック　NB-12L

使用電池	充電式リチウムイオン
使用温度	約0 ℃～＋40 ℃
公称電圧	DC3.6 V
公称容量	1910 mAh
外形寸法 （幅×高さ×奥行き）	約34.4×10.4×48.5 mm
質量	約35 g

コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）CA-110

定格入力	AC 100 V – 240 V（50/60 Hz）、17 VA(100V) ～ 23 VA(240V)
定格出力	公称DC5.3V、1.5 A
外形寸法 （幅×高さ×奥行き）	約49×27×79 mm
質量	約110 g

カードへの記録可能時間の目安

画質＼容量	8GB	16GB	32GB	64GB
24Mbps（1920×1080）	40分	1時間25分	2時間55分	5時間55分
17Mbps（1920×1080）	1時間	2時間5分	4時間10分	8時間20分
4Mbps*（1280×720）	4時間20分	8時間40分	17時間20分	34時間45分

* MP4形式の動画のみ

1回の撮影操作で記録できる時間は、約12時間です。それを超えると自動的に一時停止し、約3秒後に再び記録が開始されます。なお、記録される映像は、別々のシーンになります。

4GBのカードへの記録可能枚数の目安

撮影条件や被写体により、記録できる静止画の枚数は異なります。

静止画サイズ	記録可能枚数
L 4000×3000	750枚
M 1920×1440	3200枚
S 640×480	23500枚

バッテリーの充電時間の目安

付属のバッテリーパックNB-12Lの充電時間の目安は次のとおりです。
充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。

	コンパクトパワーアダプター CA-110	バッテリーチャージャー CB-2LG
充電時間	4時間	3時間5分

バッテリーの使用時間の目安

付属のバッテリーパックNB-12Lをフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

AVCHD動画形式のとき

録画モード	使用時間	NB-12L
24Mbps	連続撮影時間	2時間35分
	実撮影時間	1時間30分
	再生時間	3時間40分
17Mbps	連続撮影時間	2時間40分
	実撮影時間	1時間30分
	再生時間	3時間45分

MP4動画形式のとき

録画モード	使用時間	NB-12L
24Mbps	連続撮影時間	2時間55分
	実撮影時間	1時間40分
	再生時間	3時間50分
17Mbps	連続撮影時間	2時間55分
	実撮影時間	1時間40分
	再生時間	3時間45分
4Mbps	連続撮影時間	3時間10分
	実撮影時間	1時間45分
	再生時間	4時間0分

* 実撮影時間とは撮影、撮影停止、電源の入／切などの操作を繰り返したときの撮影時間です。
* 液晶画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。
* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

バッテリーは予定撮影時間の2〜3倍分をご用意ください
ビデオカメラの消費電力は操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

Full HD 1080について

Full HD 1080とは垂直画素(走査線)数1080画素(本)のHD(High Definition)映像に対応しているキヤノン製ビデオカメラを示しています。

FULL HD 1080

iVIS mini Xは、DCFに準拠しています。DCFは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

iVIS mini Xは、Exif 2.3(愛称「Exif Print」)に対応しています。ExifPrintは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。ExifPrint対応のプリンターで印刷することで、撮影時のカメラ情報を生かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

さくいん

ア行

アクセスポイント……160
アップロード……144、147
あとからフォト……113
アフターサービス……243
安全上のご注意……194
インターバル記録……70
インデックス画面……44、51
エリア……210
オーディオシーン……88
オート……35、40、68
おしらせ音（操作音）……32、216
お手入れ……208
音声コンプレッサー……102
音声ミックス……100
音声リミッター……101

カ行

カードを入れる……19
海外で使う……209
画質……64
画面の見かた……222
キヤノンイメージゲートウェイ……147
グルメ・ファッション……68
結露……206
故障かな？……173

サ行

サイズ（静止画）……66
再生する：静止画……51
　動画……44
撮影時間……222
撮影する：静止画……40
　動画……35
撮影モード……67
サマータイム……210
三脚……202
シーン……10
シネマルックフィルター……119
車内……68
充電……16
消去する：静止画……56
　動画……54
初期化する……24
シリアル番号（機番）……14
スノー……68
スポーツ……68
スライドショー……62
スロー記録……74
セットアップメニュー……32、211
セルフタイマー……78

タ行

タッチ（操作）……28
タッチデコレーション……80
タッチパネル……28
手ブレ補正……214
テレビで見る……115
ドラッグ（操作）……28

取り扱い上のご注意 201
トリミング 60

ナ行

内蔵マイクアッテネーター 94
内蔵マイクウィンドカット 93
内蔵マイクの指向性 96
内蔵マイク周波数特性 95

ハ行

倍速記録 74
パソコンに保存（バックアップ） 121
バッテリーの使用時間（目安） 236
ビーチ 68
日付/時刻 22
ビデオスナップ 76
ファイル番号 219
フェイスキャッチ&追尾 110
フリッカー低減 213
フレームレート 212
プログラムAE 68
ホーム画面 29
ポジション検出 84
ホワイトバランス 105

マ行

マーカー表示 214
マイクレベル 92
マクロ 68
ミラーイメージ記録 84
無線LAN 132
無線親機 160
メッセージ 183
メディアサーバー 157

ヤ行

夜景 68

ラ行

ライブストリーミングリモコン 133
リニアPCM ..... 64、86
リモートブラウズ 141
録画モード 64
露出 107

ワ行

ワイヤレスアンテナ 132

そのほか

CameraAccess plus 133
CANON iMAGE GATEWAY ..... 124、147
Facebook 130
HDMI出力端子 115
MICアッテネーター 97
MIC端子入力選択 99
MICローカット 98
Movie Uploader 144
MP4変換 117
SD／SDHC／SDXCメモリーカード 19
Twitter 147
Webサービス 147
Wi-Fi ..... 8、130
Wi-Fiの用語 170
WPS 160
YouTube 130

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac OS、App Store、iTunes、iPhone、iPad、iPod touchは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- "AVCHD"はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- DCFは、(社)電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- Google、Android、Google Play、YouTube、Google Drive は、Google Inc. の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DOLBY DIGITAL STEREO CREATOR

- FacebookおよびFロゴはFacebook Inc.の商標です。
- iOSは、米国およびその他の国における Cisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Twitter、Twitterマークは、Twitter,Inc. の商標です。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2とWi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- ビデオカメラの設定画面と本書内で使用されている「WPS」は、Wi-Fi Protected Setupを意味しています。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、キヤノンはこれら商標を使用する許可を受けています。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本機器は、Microsoftからライセンスされたexfat技術を搭載しています。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

アフターサービス

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、本保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内に弊社修理受付窓口、またはお買い上げ店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。修理受付窓口については、カメラ修理受付センター（🕮 244）にお問い合わせ頂くか、弊社ホームページでご確認ください。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理を依頼されるときは

- 故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は、十分な梱包でお送りください。

アフターサービス期間について

- ビデオカメラのアフターサービス期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理について

■ 修理に出すまえに

- 不具合症状の再現・確認のために、カードをお預かりすることがあります。その場合、修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、必要最小限の範囲でカード内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。

■ 修理のお問い合わせは

カメラ修理受付センター

050-555-99077（全国共通）

9:00～18:00（1月1日～1月3日を除く）

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようにお願いいたします。

上記電話番号をご利用になれない場合は、**043-211-9316**をご利用ください。

- 購入年月日、型名「iVIS mini X」、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口（サービスセンター、修理センター）をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法（宅配便発送／弊社によるお引き取り）やお届けについてご案内いたします。

ビデオカメラやImageBrowser EXの使いかた

キヤノン お客様相談センター

050-555-90003（全国共通）

9:00～18:00（1月1日～1月3日を除く）

※上記番号をご利用になれない場合は、**043-211-9394**をご利用ください。

PIXELA社製ソフトウエアの使いかた

株式会社ピクセラ ユーザーサポートセンター

0120-660-721（固定電話用、無料）

0570-783-262（携帯電話用）

平日･土曜日 10:00～18:00（年末年始、祝日を除く）

※上記番号をご利用になれない場合は、**FAX：06-6633-2992**をご利用ください。

※お問い合わせ先は変更になる場合があります。最新の情報については以下のウェブサイトをご確認ください。

http://www.pixela.co.jp/oem/canon/j/index_c.html

デジタルビデオカメラホームページ

最新の情報については、こちらをご覧ください。

- デジタルビデオカメラ製品情報　http://canon.jp/ivis
- キヤノン サポートページ　http://canon.jp/support
- CANON iMAGE GATEWAY　http://www.imagegateway.net/

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

PUB. DIJ-0419-000C ©CANON INC. 2015

Li-ion リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

本書の内容は2015年4月現在です。製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。